

使用データ

HER-SYSと自治体公開情報データ（4月19日時点）

解釈時の注意点

- HER-SYSに基づく値は、特に直近1週間については報告遅れのために過小評価となっている可能性があり、その程度は自治体によって差がある（図の灰色部分）
- 自治体公開情報データに基づく年代別の値は、年代を非公表としている症例が多い自治体については過小評価となる
- どちらのデータも完全ではないため、両者を用いた評価が必要である

まとめ

北海道：新規症例報告数は横ばいで、全年代においてステージ3相当以下になっている。

宮城県：全体的に新規症例報告数は減少傾向だが、高齢者が最も多くなっている。

首都圏：20・30代で増加傾向にあり20・30代の新規症例報告数が東京と埼玉*ではステージ4相当、神奈川と千葉ではステージ3相当を超えている。

東海圏：20・30代で増加傾向にあり20・30代の新規症例報告数が愛知はステージ4相当、岐阜はステージ3相当を超えている。

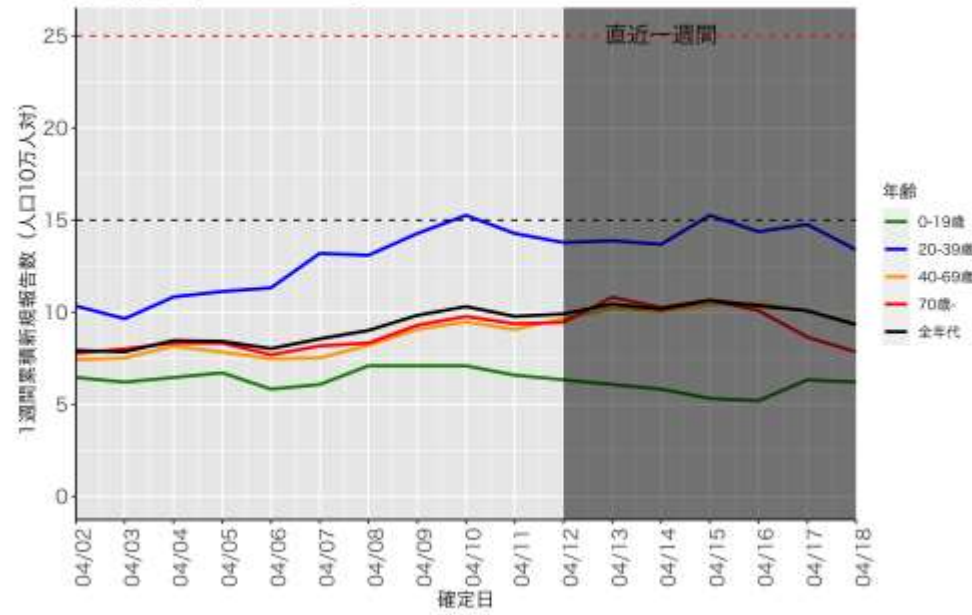
関西圏：全世代において新規症例報告数増加が継続しており、大阪*、兵庫*、奈良*では全世代でステージ4相当を超えている。

愛媛県：新規症例報告数は横ばいだが、高齢者では増加傾向。20・30代はステージ4相当を超えている。

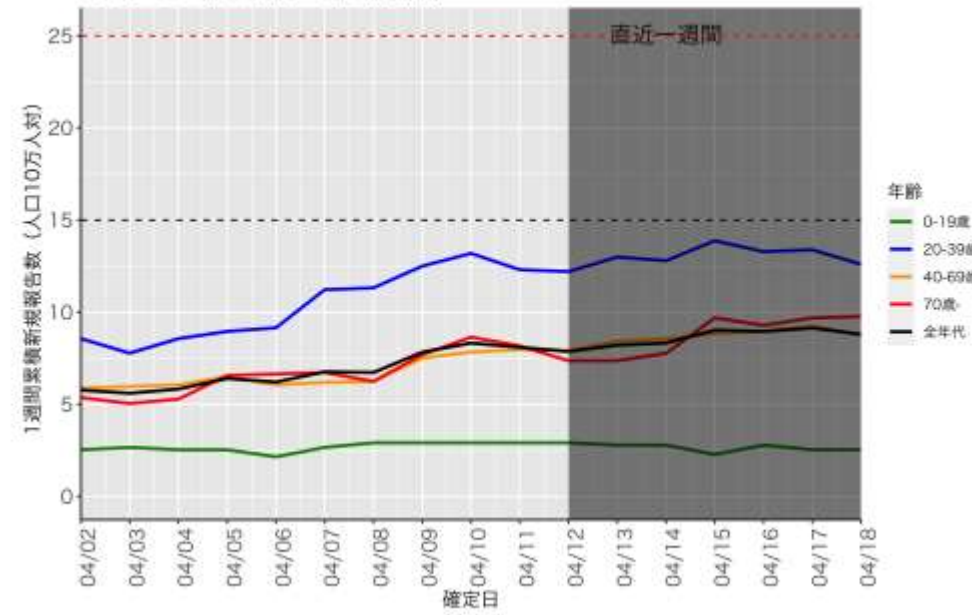
沖縄県：新規症例報告数は高止まりで、全年代でステージ4相当を超えている。

（*はHER-SYSまたは自治体公開情報のどちらかのみでのレベルを示す。）

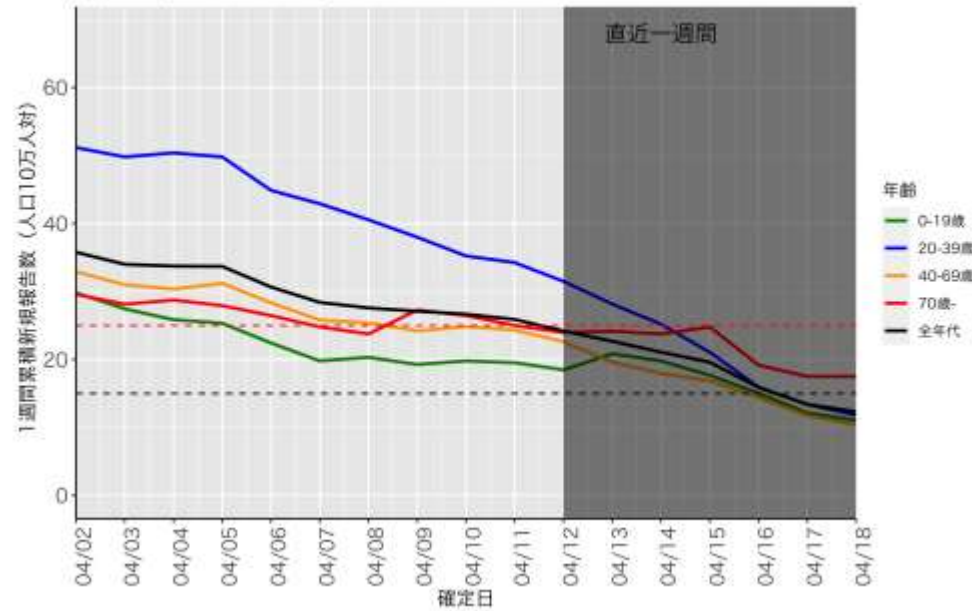
北海道 (HER-SYS)



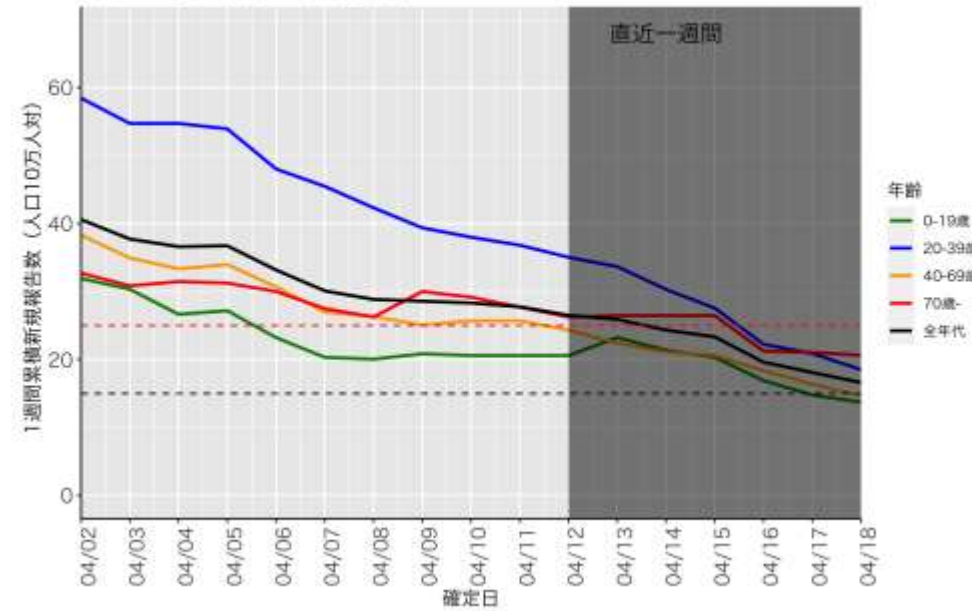
北海道 (自治体公開情報)



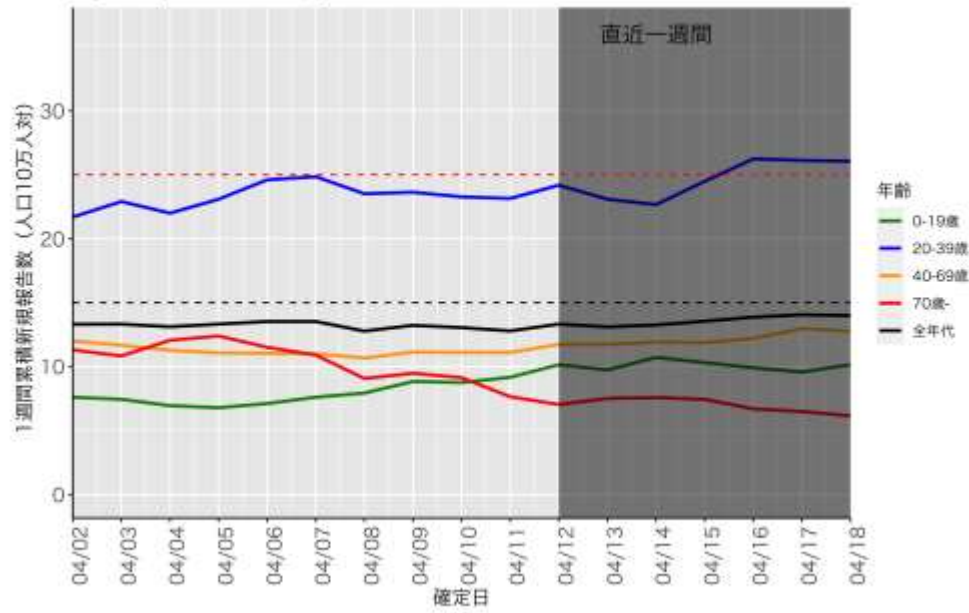
宮城 (HER-SYS)



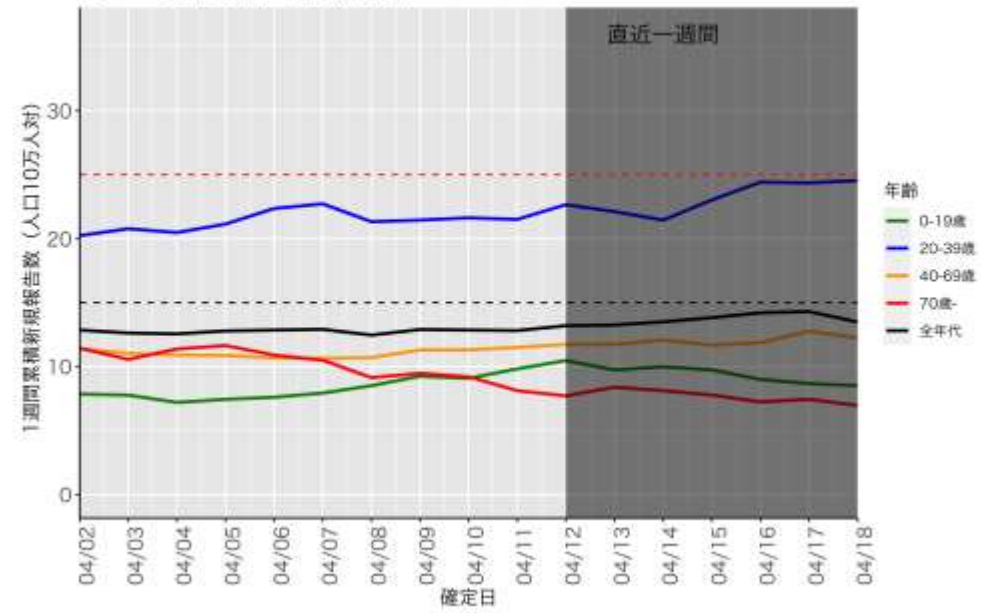
宮城 (自治体公開情報)



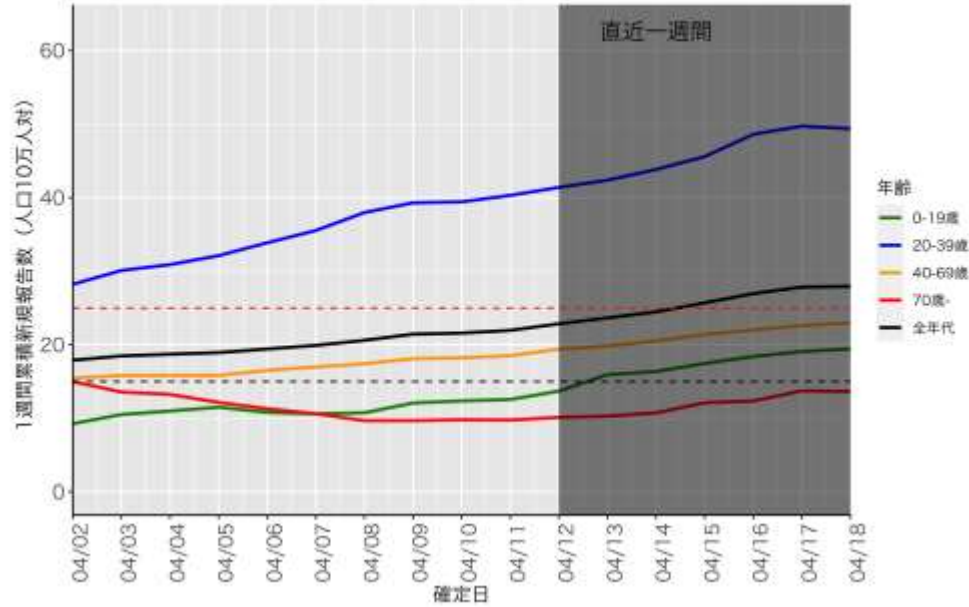
埼玉 (HER-SYS)



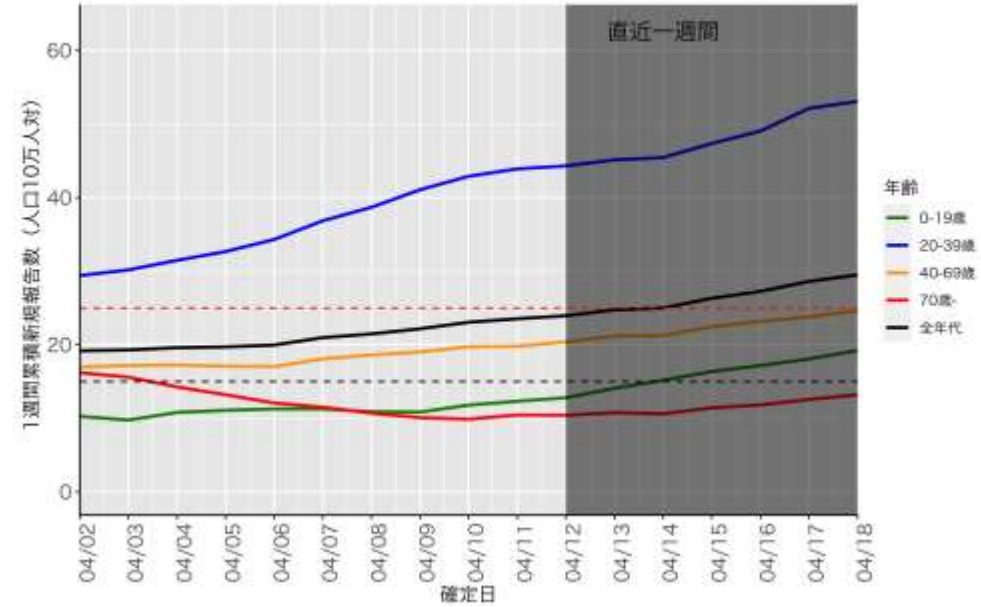
埼玉 (自治体公開情報)



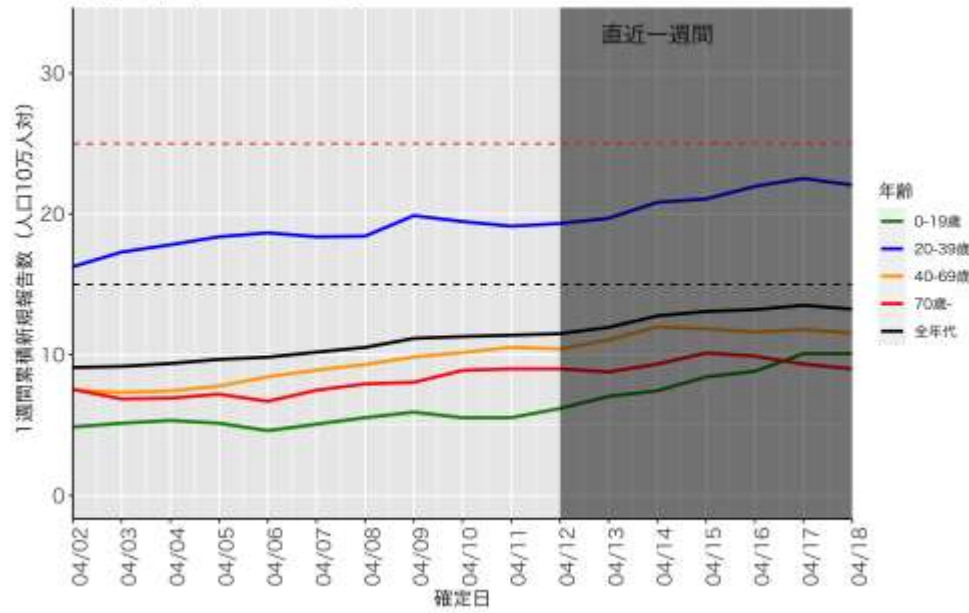
東京 (HER-SYS)



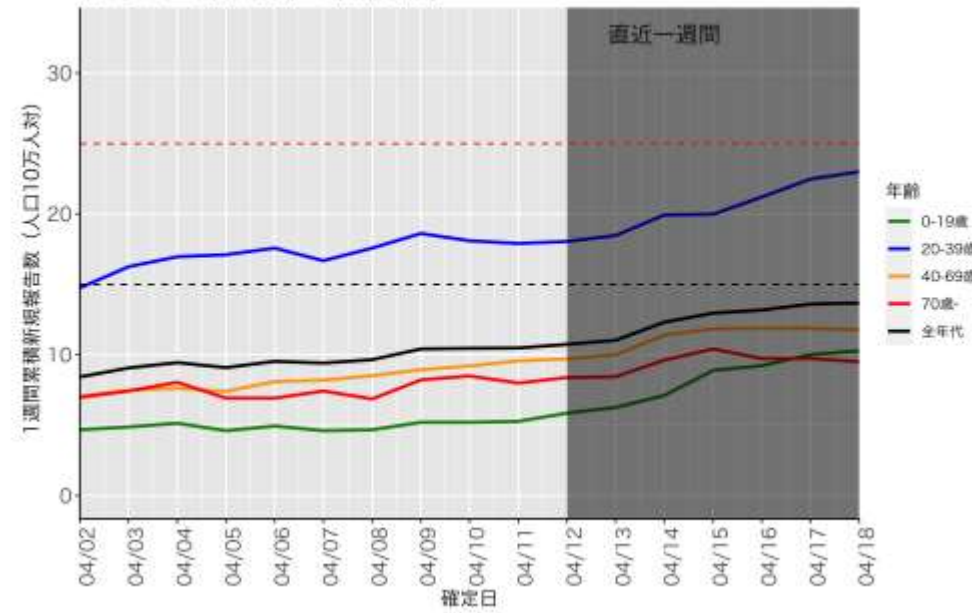
東京 (自治体公開情報)



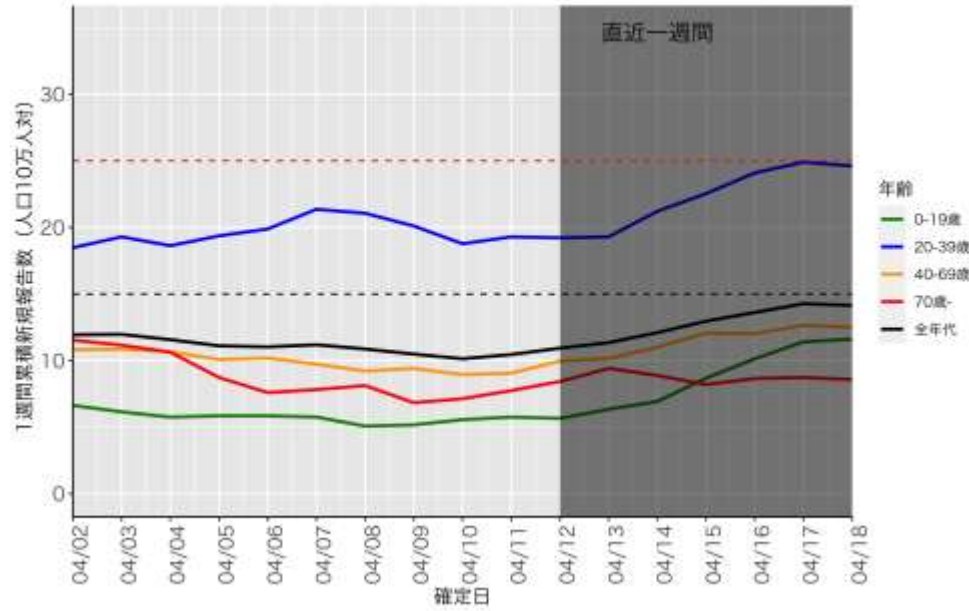
神奈川 (HER-SYS)



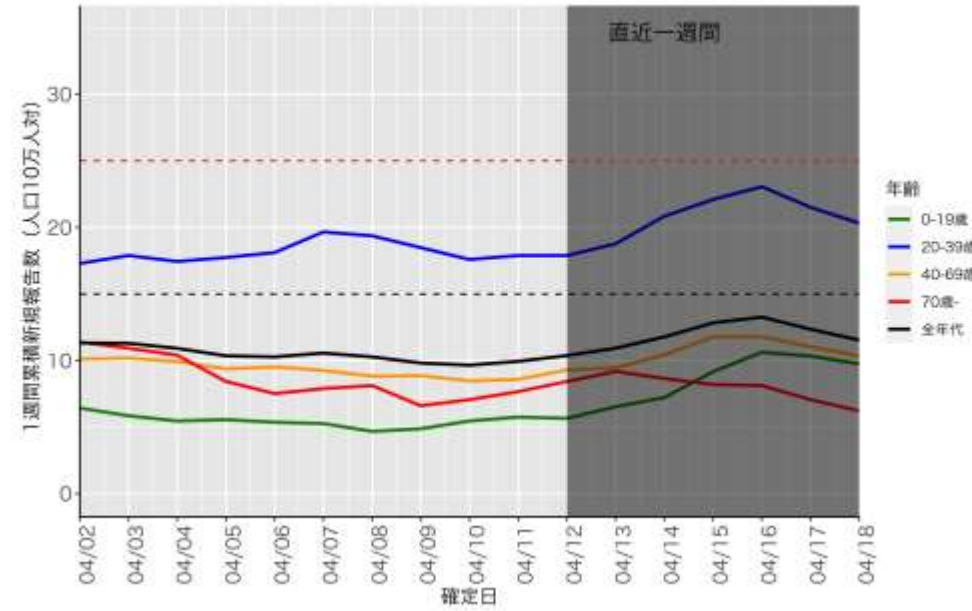
神奈川 (自治体公開情報)



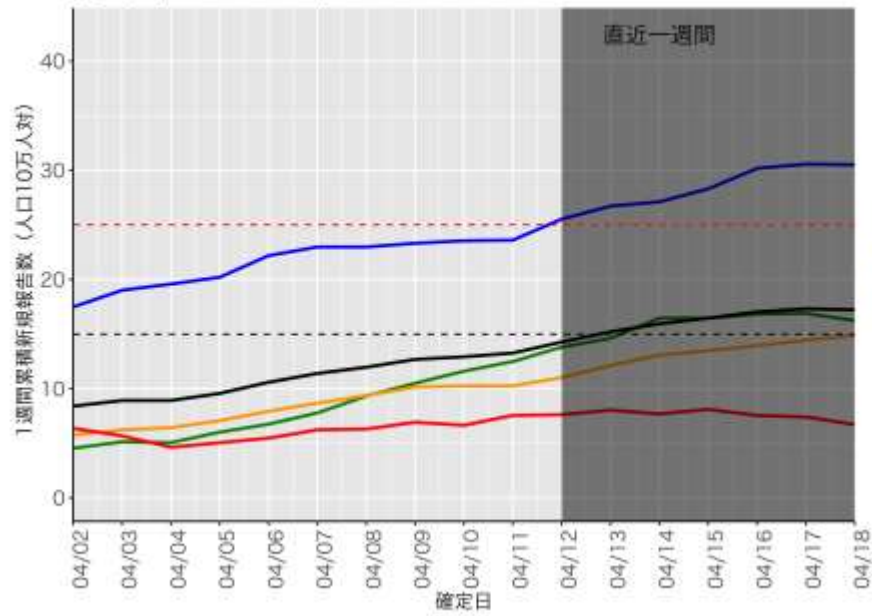
千葉 (HER-SYS)



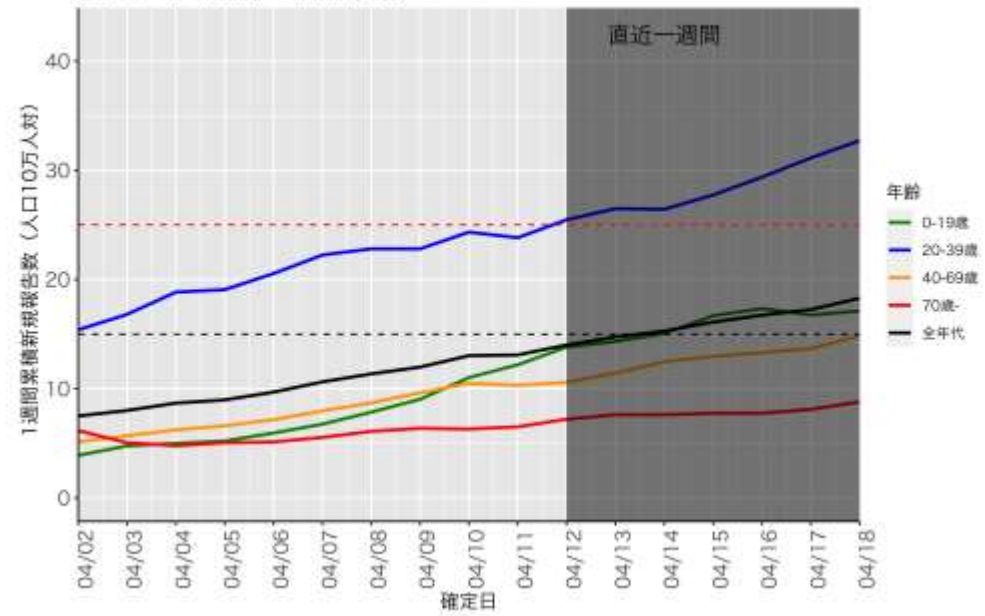
千葉 (自治体公開情報)



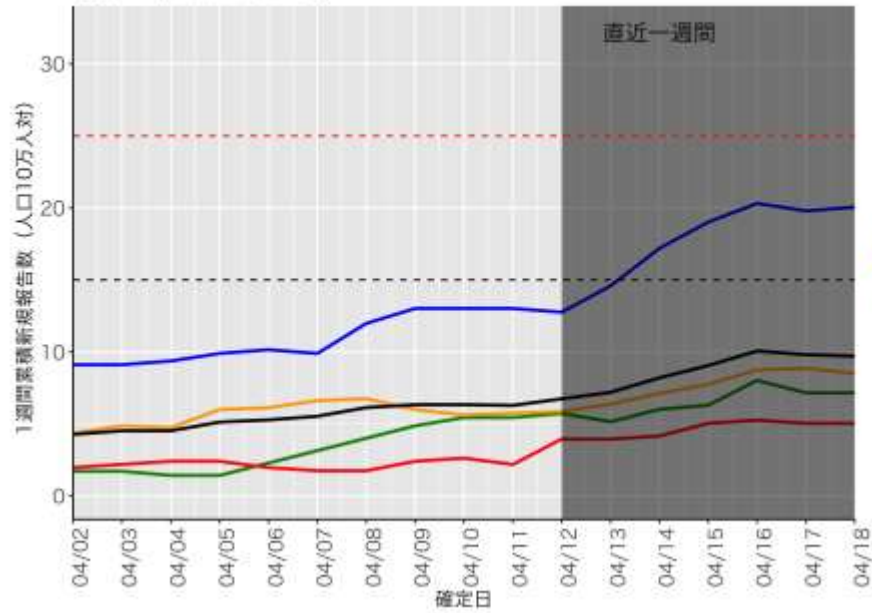
愛知 (HER-SYS)



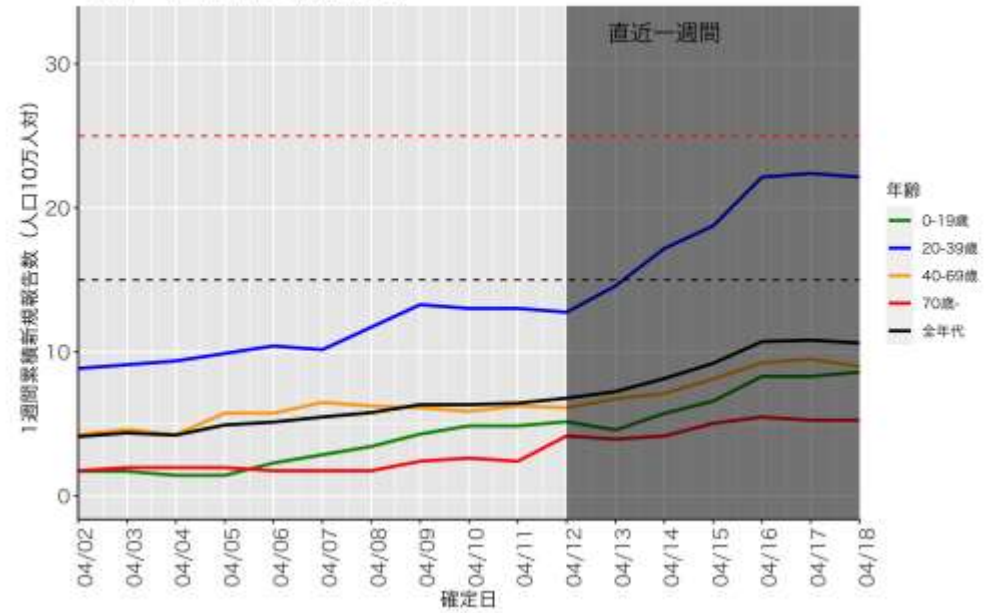
愛知 (自治体公開情報)



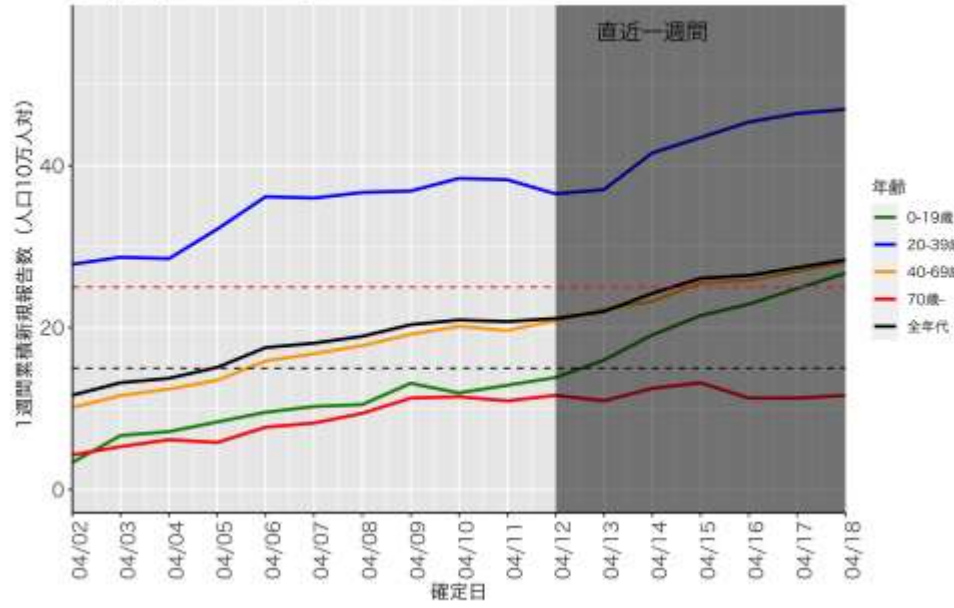
岐阜 (HER-SYS)



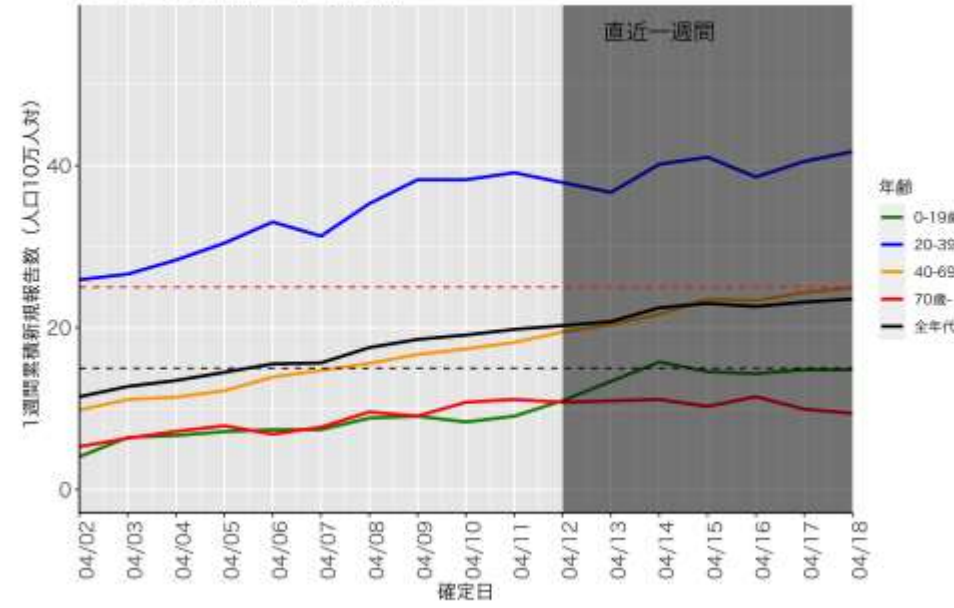
岐阜 (自治体公開情報)



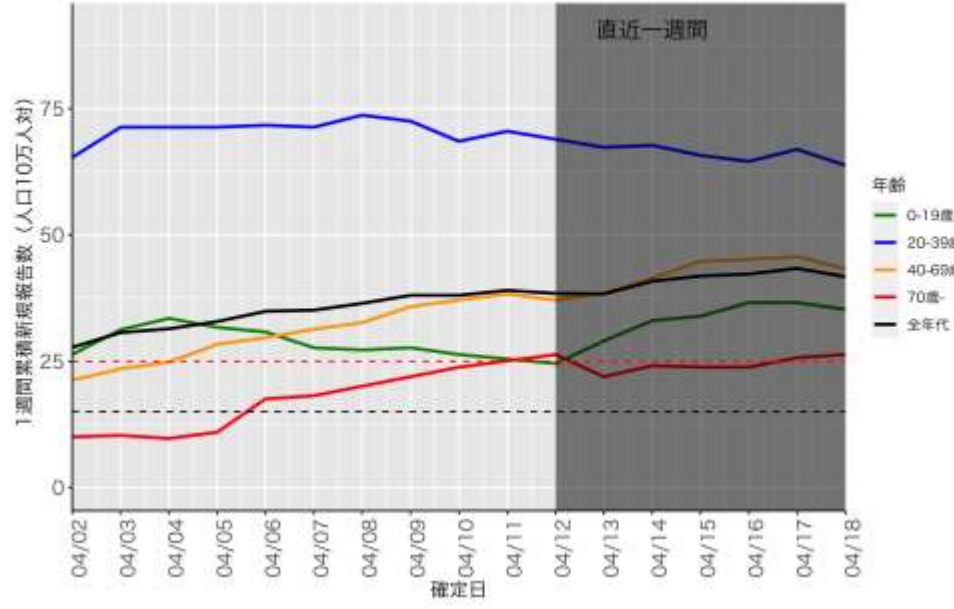
京都 (HER-SYS)



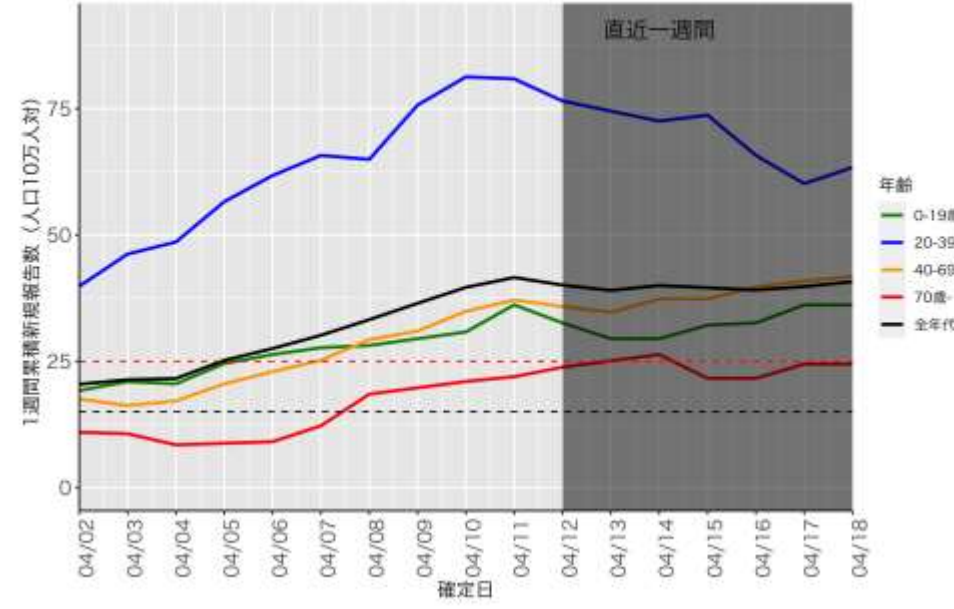
京都 (自治体公開情報)



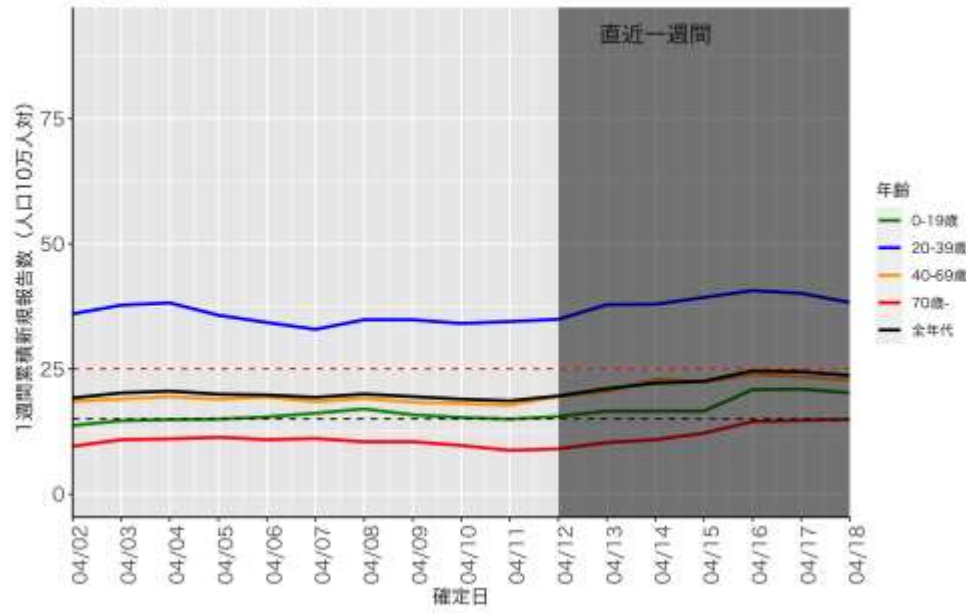
奈良 (HER-SYS)



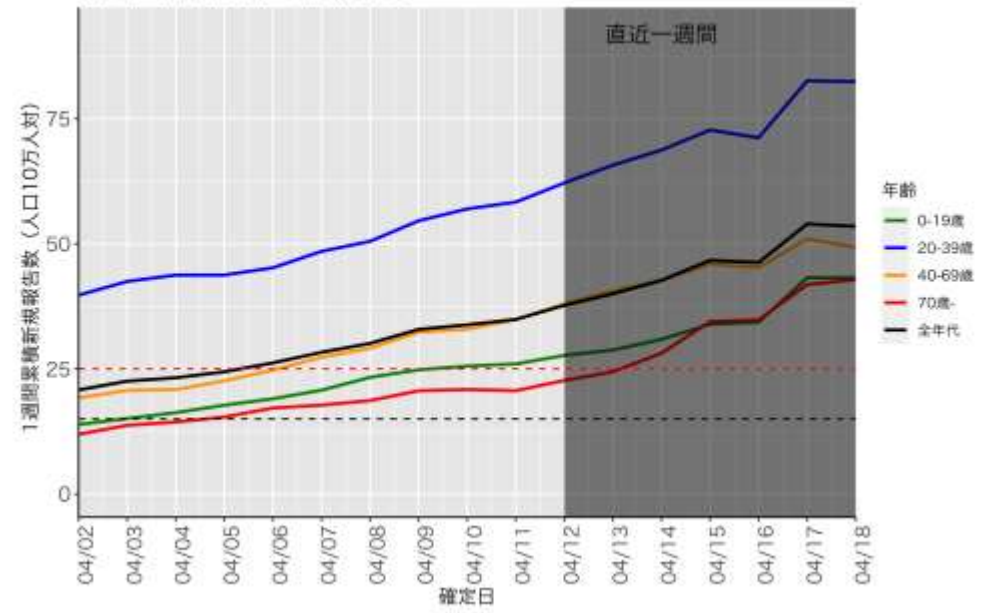
奈良 (自治体公開情報)



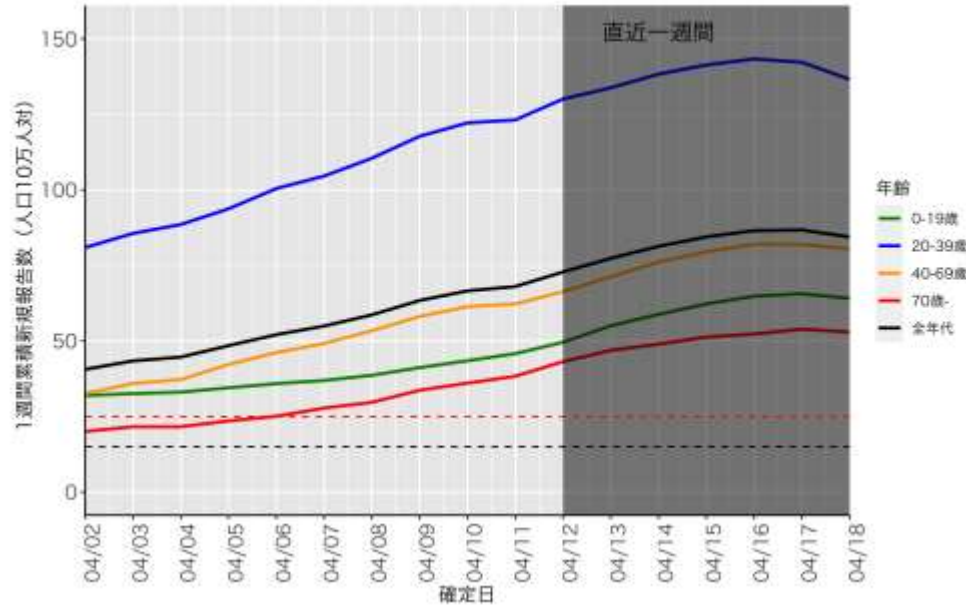
兵庫 (HER-SYS)



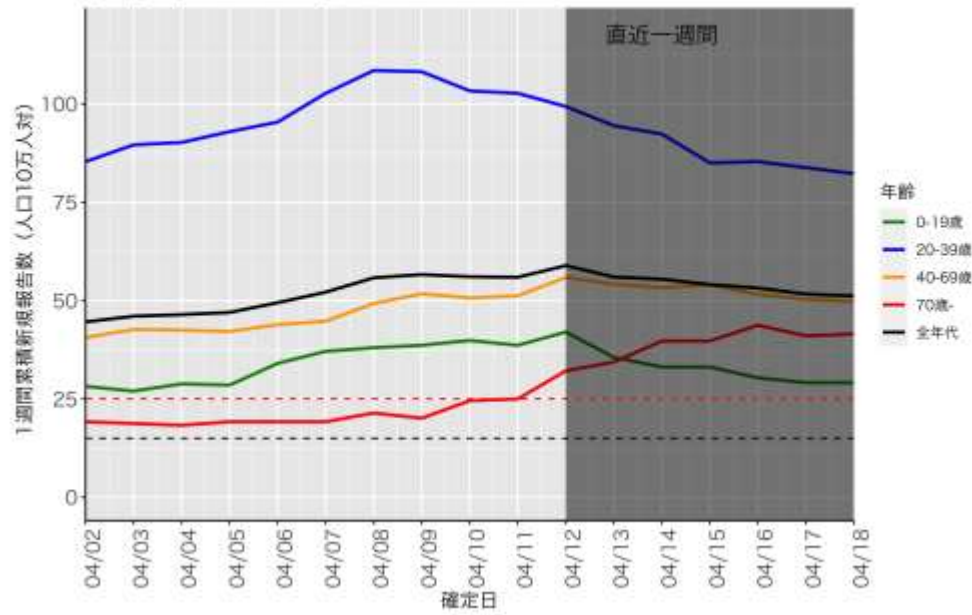
兵庫 (自治体公開情報)



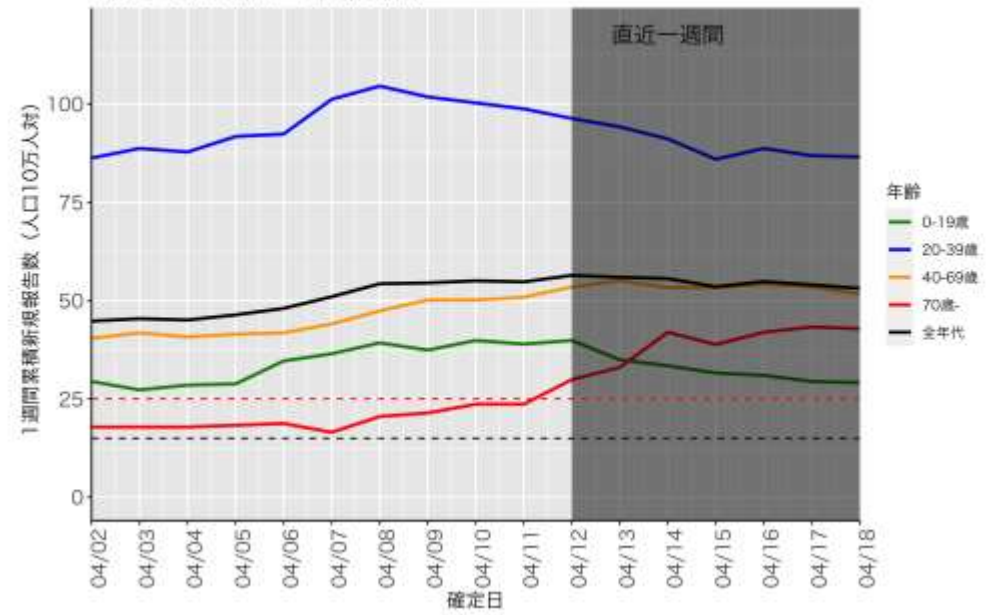
大阪 (HER-SYS)



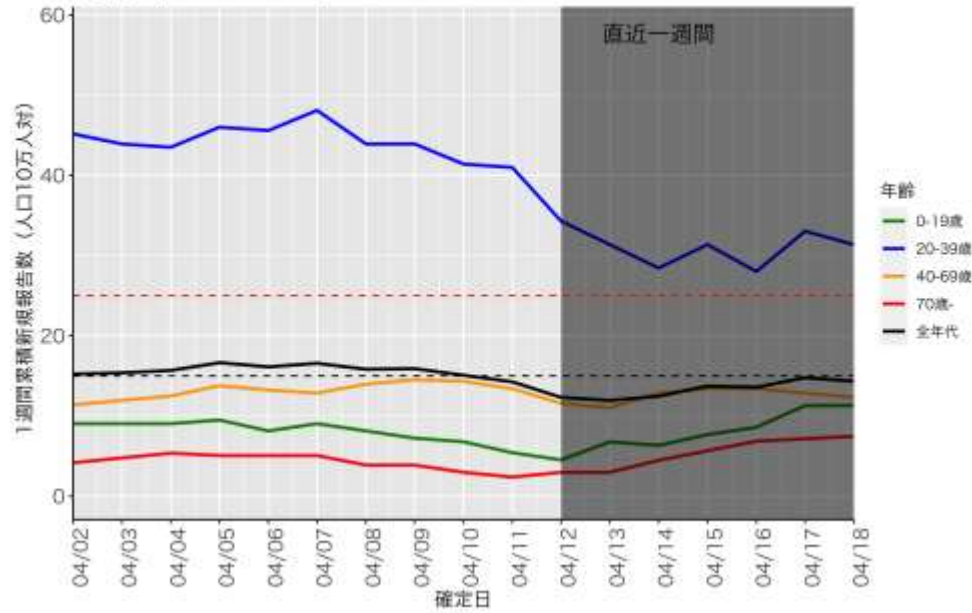
沖縄 (HER-SYS)



沖縄 (自治体公開情報)



愛媛 (HER-SYS)



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ

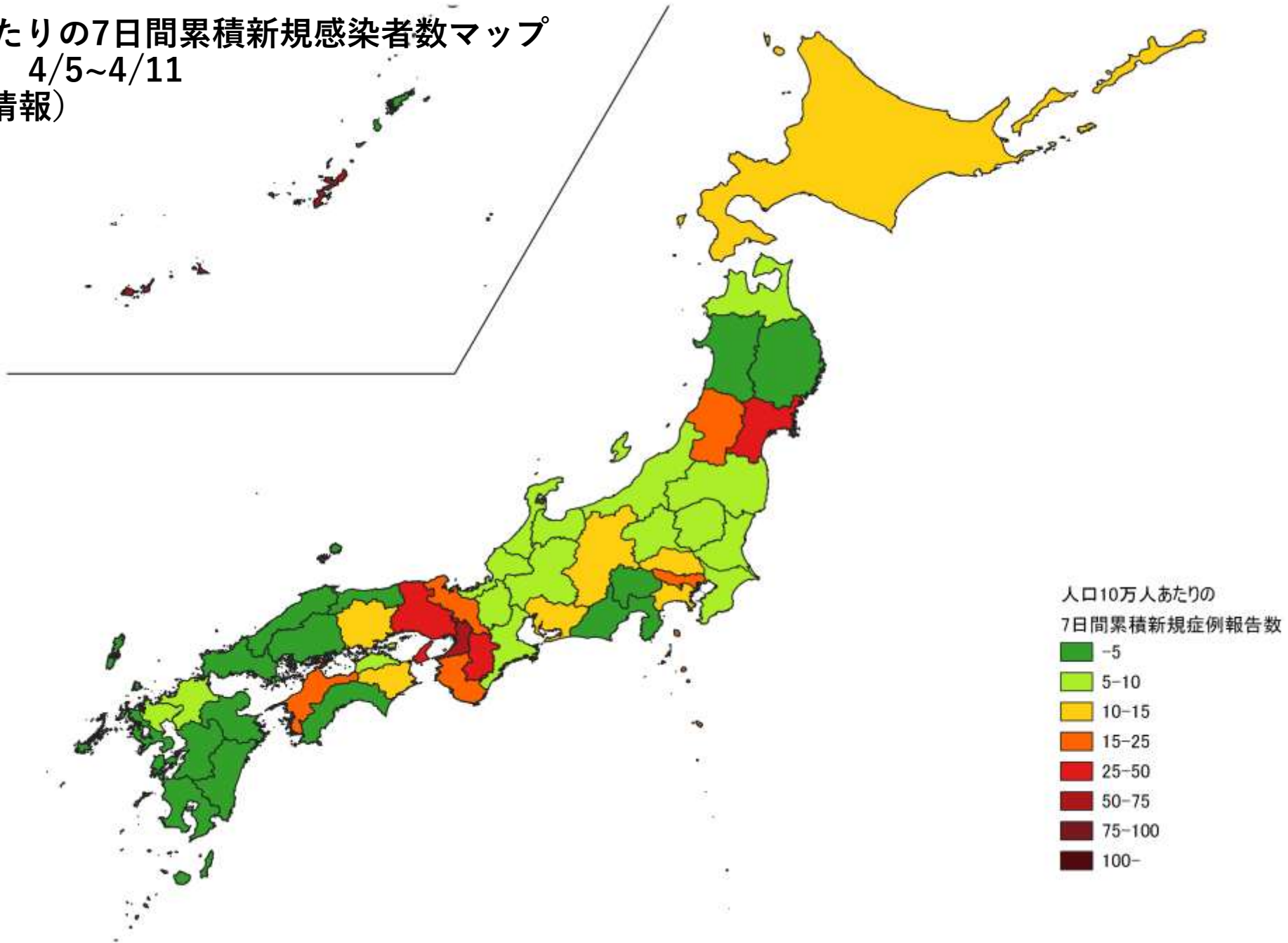
使用データ

- 2021年4月19日時点（4月18日公表分まで）の自治体公開情報を用いて、直近1週間（4/12～4/18）、1週間前（4/5～4/11）の人口10万人あたり7日間累積新規症例報告数を都道府県別に図示した。
- 同様に、2021年4月19日時点のHER-SYSデータを用いて保健所管区別の分析を行った。**データ入力の遅れを考慮し、直近1週間は参考資料とする。**

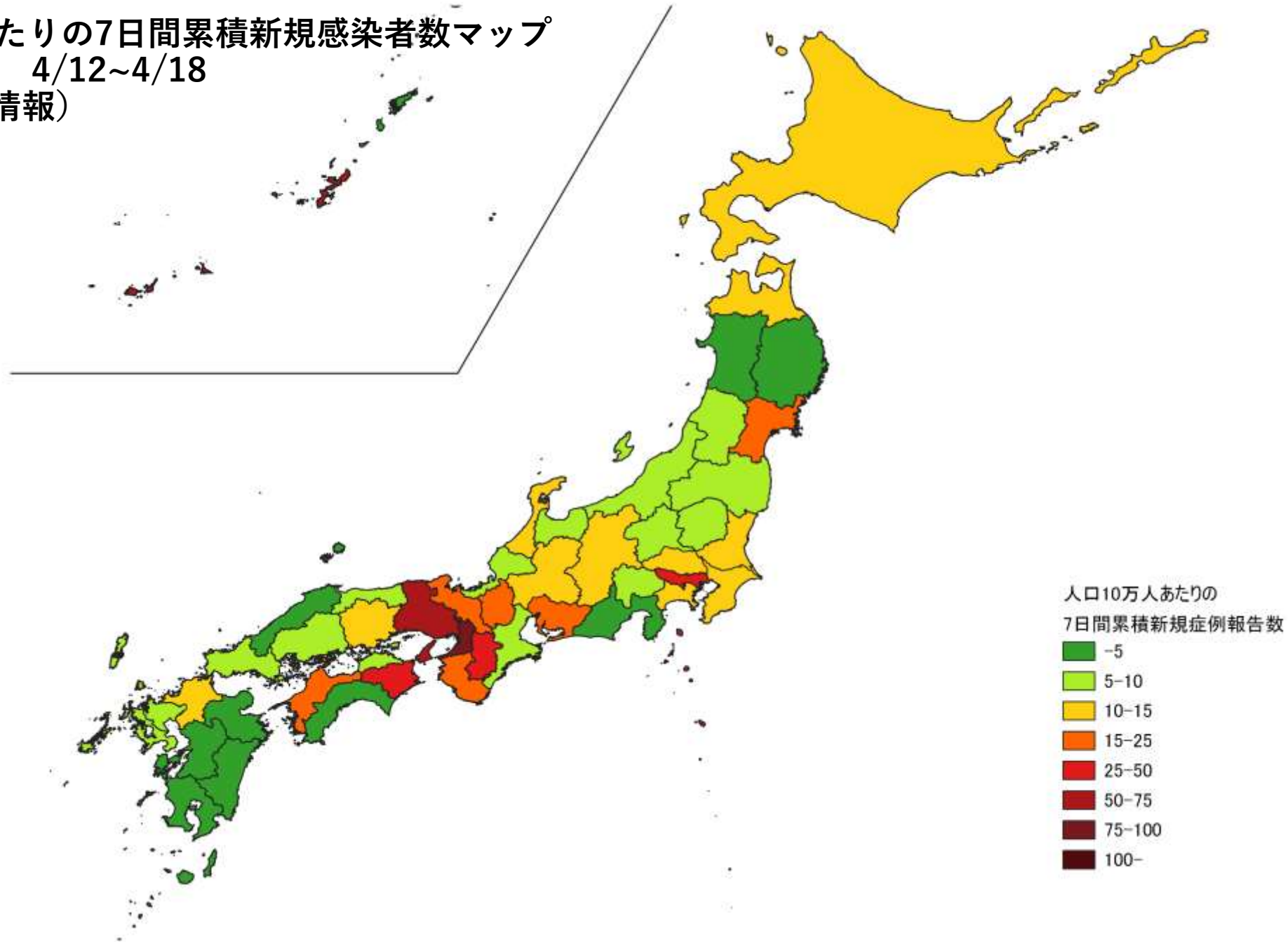
まとめ

- 直近では、都道府県レベルでは東京都、大阪府、奈良県、兵庫県、徳島県、沖縄県がステージ4相当、宮城県、愛知県、滋賀県、京都府、和歌山県、愛媛県がステージ3相当。
- 保健所管区レベルでは、関西全域でステージ3～4相当以上の地域が広がっている。「まん延防止等重点措置」の対象となっていない地域でも全国的にステージ4、3相当が散見される（一部はクラスター発生が報告されている地域）。
- 宮城周辺では山形県、福島県を含む地域でステージ3～4相当。
- 首都圏では東京の都心部から周辺地域にかけてステージ4相当以上の地域が広がり、ステージ3相当の地域が拡大傾向。
- 愛知周辺ではステージ3～4相当の地域が拡大し、周辺地域の人口10万人対のレベルが上昇。
- 大阪周辺の地域では大阪市と兵庫県芦屋保健所管区で人口10万人対100人を超えるレベルとなっており、大阪府全域でステージ4相当以上。京都府、奈良県、和歌山県、兵庫県でもステージ4相当の地域が拡大。
- 沖縄県は全域がステージ3～4相当以上。

人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ
都道府県単位 4/5~4/11
(自治体公開情報)



人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ
都道府県単位 4/12~4/18
(自治体公開情報)



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ 保健所単位 4/5~4/11 (HER-SYS情報)

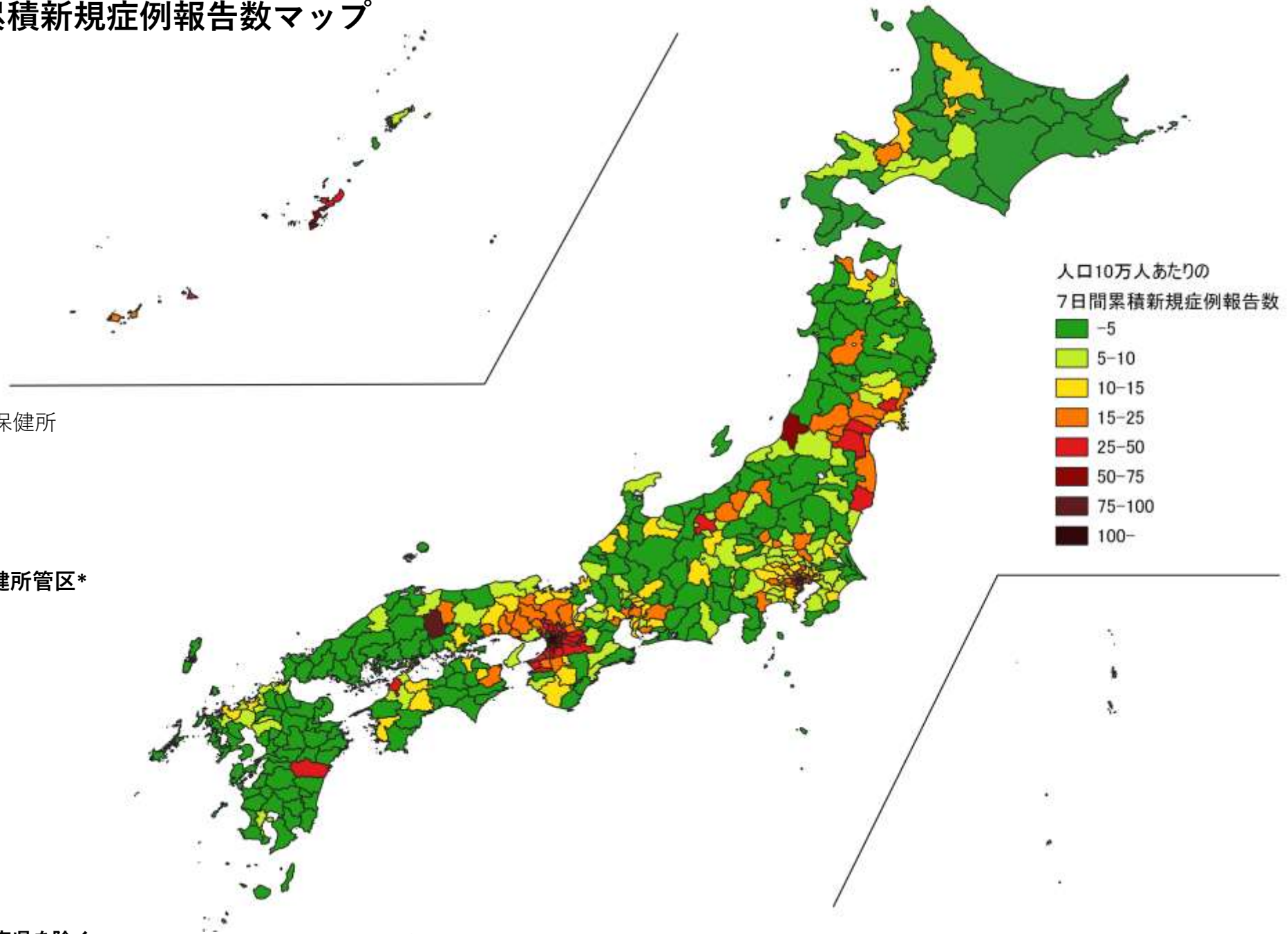
ステージ4相当の保健所管区*

- 福島県いわき市保健所
- 新潟県村上保健所
- 長野県長野市保健所
- 奈良県奈良市保健所、郡山保健所、中和保健所
- 和歌山県和歌山市保健所、海南保健所
- 岡山県備北保健所
- 愛媛県松山市保健所
- 宮崎県日向保健所

首都圏・近畿圏以外のステージ3相当の保健所管区*

- 北海道札幌市保健所
- 青森県東地方保健所
- 秋田県大仙保健所
- 山形県山形市保健所、村山保健所
- 福島県相双保健所
- 新潟県魚沼保健所、十日町保健所
- 長野県長野市保健所、北信保健所
- 三重県四日市市保健所
- 和歌山県岩出保健所、橋本保健所
- 岡山県真庭保健所
- 徳島県徳島保健所
- 愛知県松山保健所

*「まん延防止等重点措置」対象の都府県を除く



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ 保健所単位 4/12~4/18 (HER-SYS情報)

入力遅れによる過小評価の可能性あり

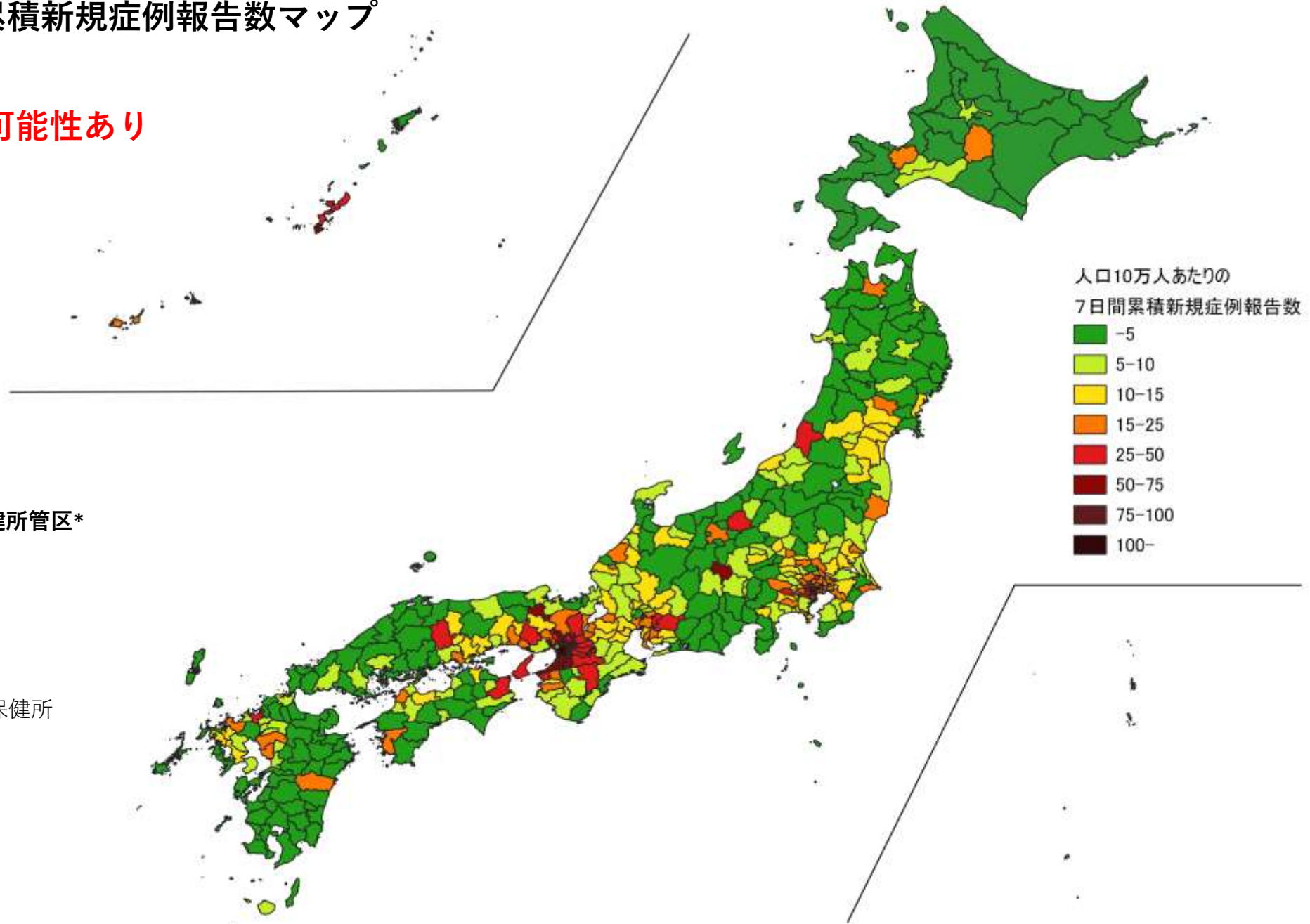
ステージ4相当の保健所管区*

- 新潟県村上保健所
- 長野県北信保健所、諏訪保健所
- 奈良県奈良市保健所、郡山保健所、中和保健所、吉野保健所
- 和歌山県和歌山市保健所
- 徳島県徳島保健所
- 岡山県備北保健所
- 福岡県福岡市

首都圏・近畿圏以外のステージ3相当の保健所管区*

- 北海道札幌市保健所、富良野保健所
- 青森県青森市保健所
- 福島県いわき市保健所
- 長野県長野市保健所
- 石川県南加賀保健所
- 福井県福井保健所
- 滋賀県彦根保健所、草津保健所、大津市保健所
- 和歌山県岩出保健所、湯浅保健所
- 岡山県倉敷市保健所
- 愛知県松山市保健所、宇和島保健所
- 福岡県南筑後保健福祉事務所
- 佐賀県唐津保健所
- 熊本県有明保健所
- 宮崎県日向保健所

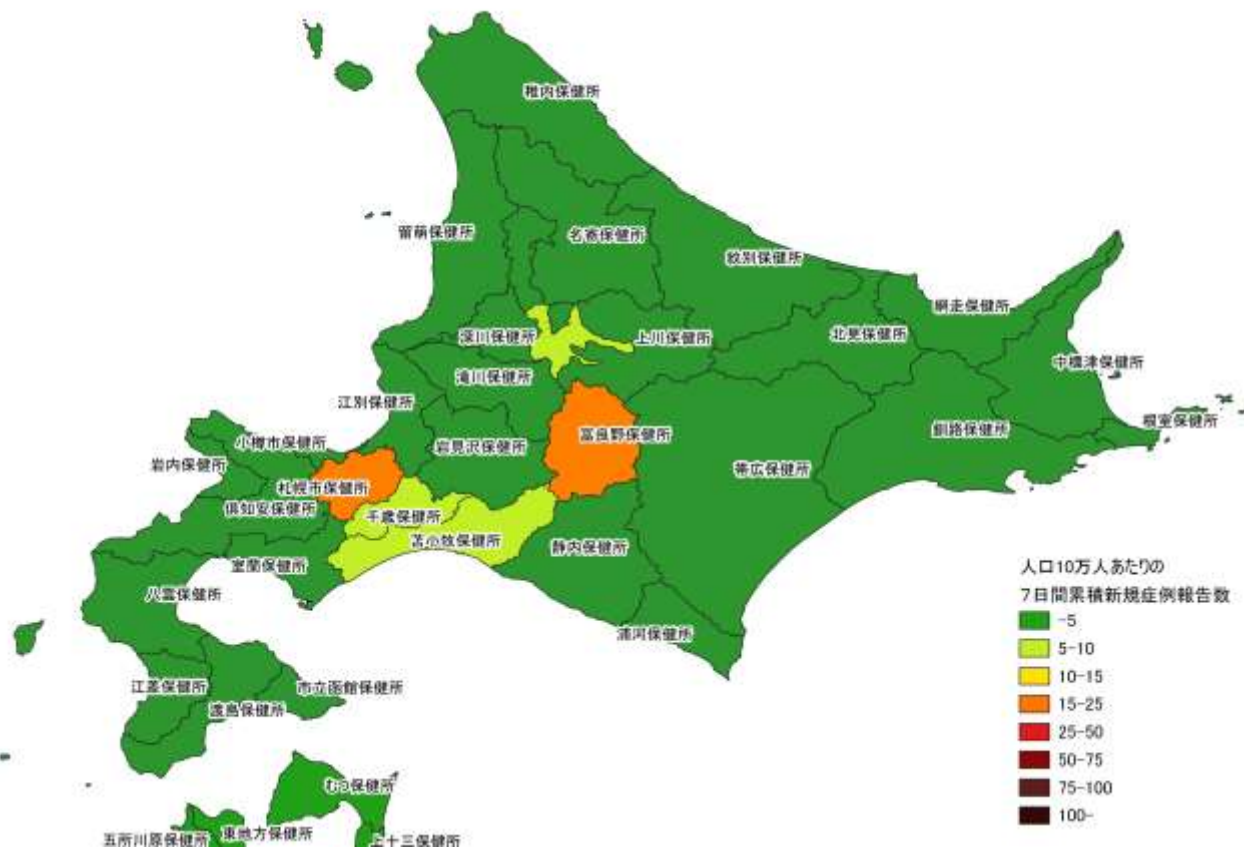
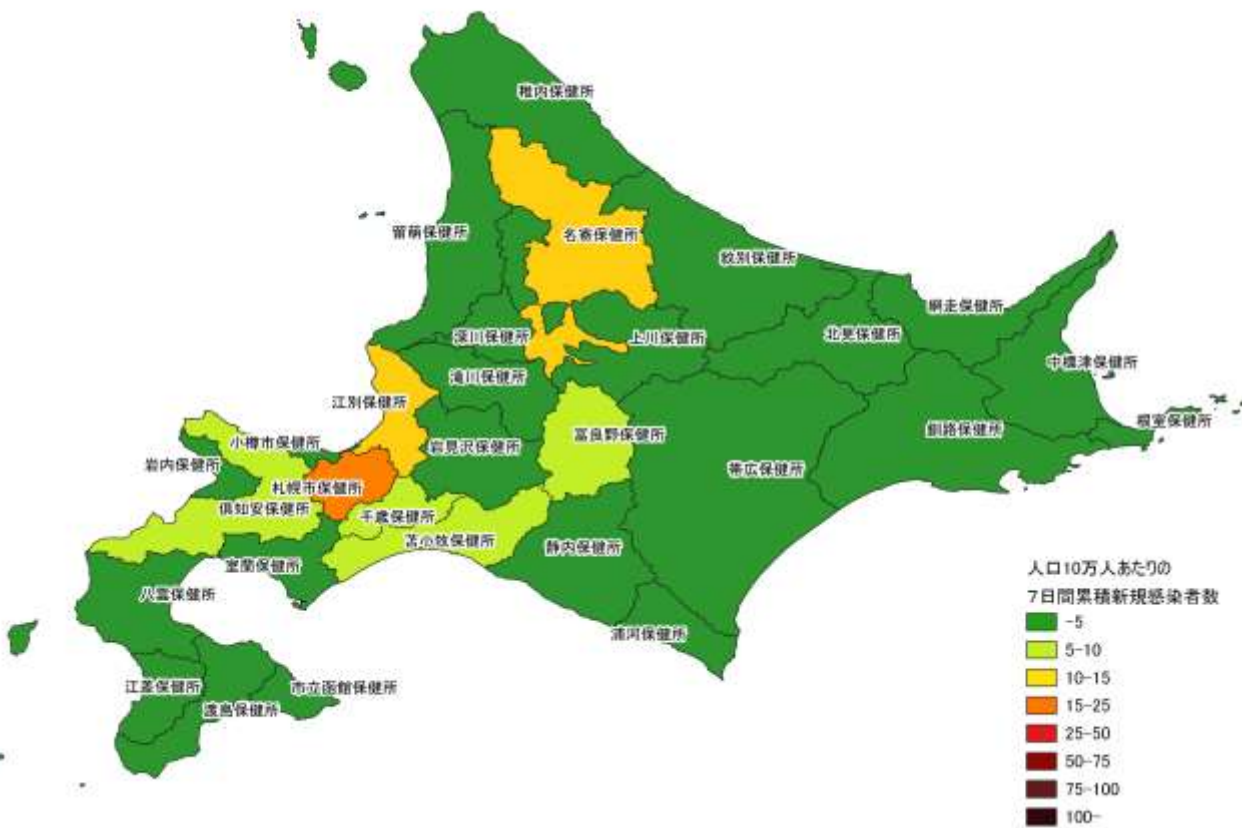
*「まん延防止等重点措置」対象の都府県を除く



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ 北海道 (HER-SYS情報)

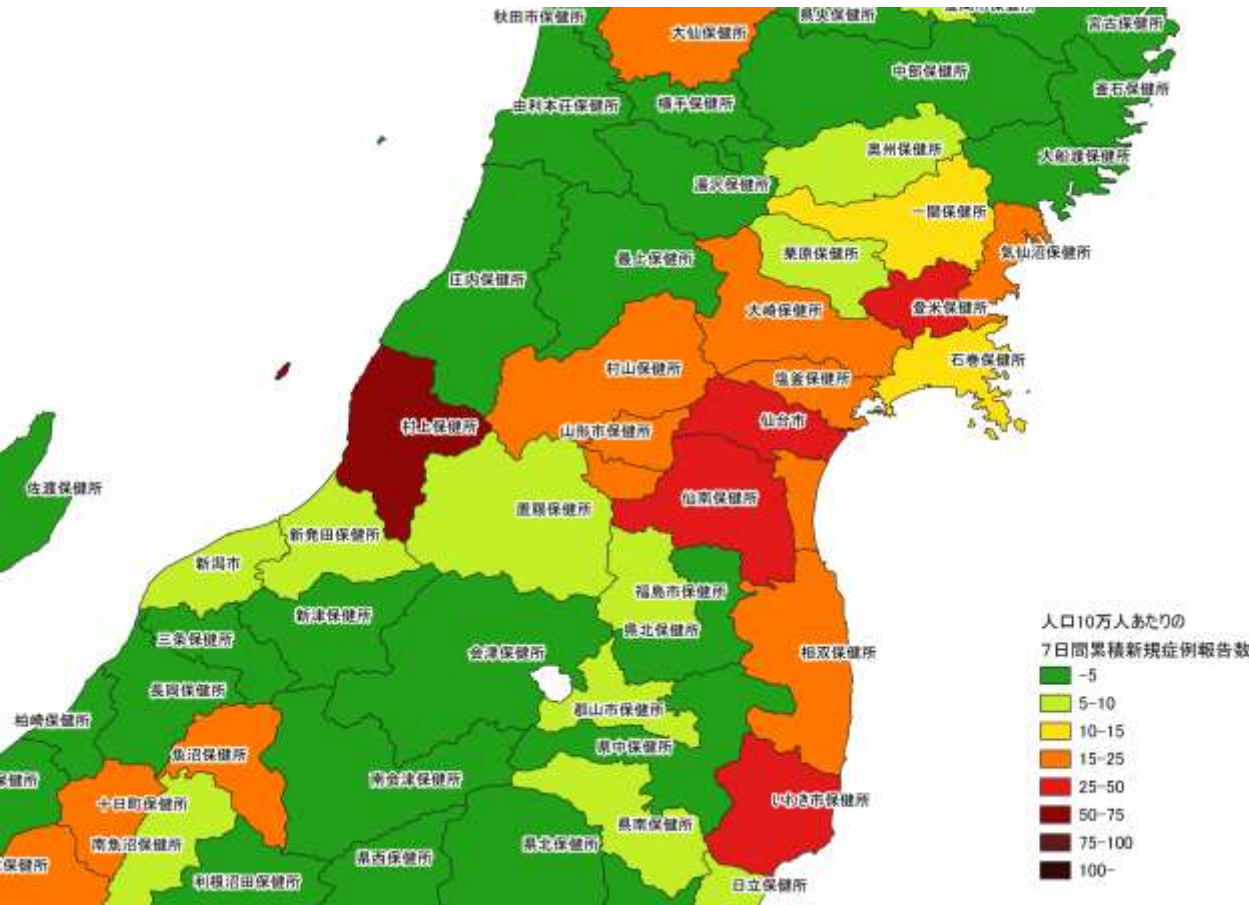
4/5~4/11

4/12~4/18 **入力遅れによる過小評価の可能性あり**

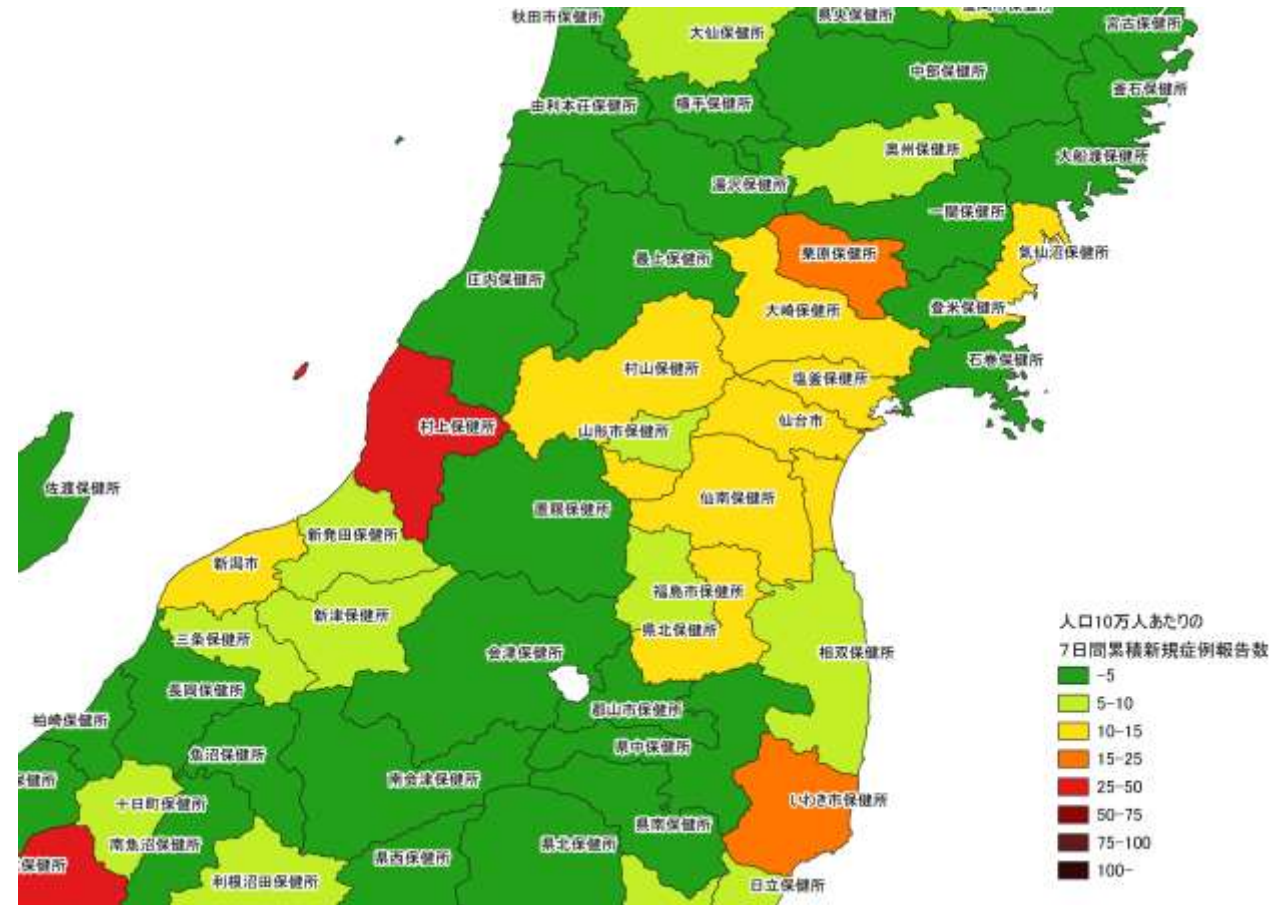


人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ 宮城周辺（HER-SYS情報）

4/5~4/11

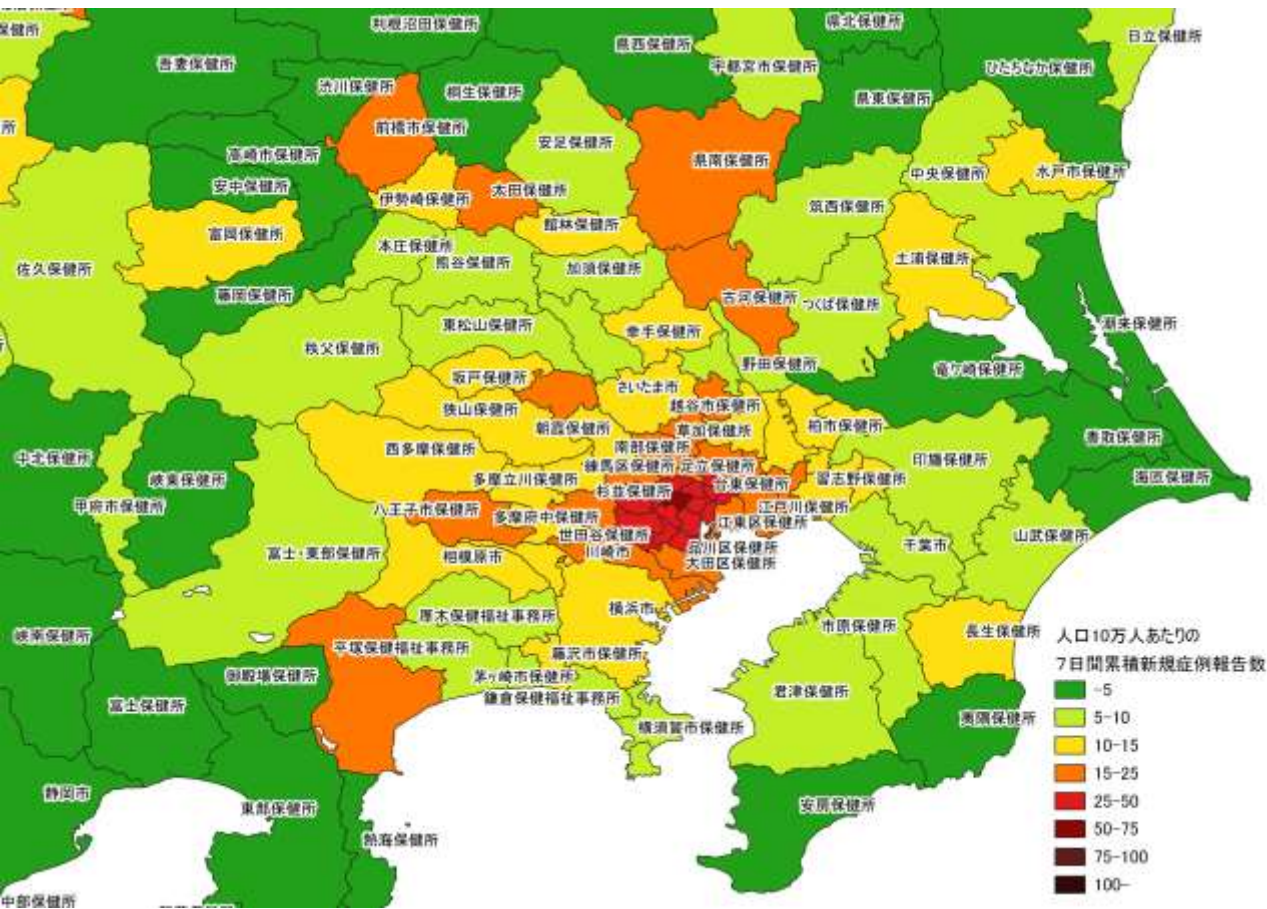


4/12~4/18 **入力遅れによる過小評価の可能性あり**

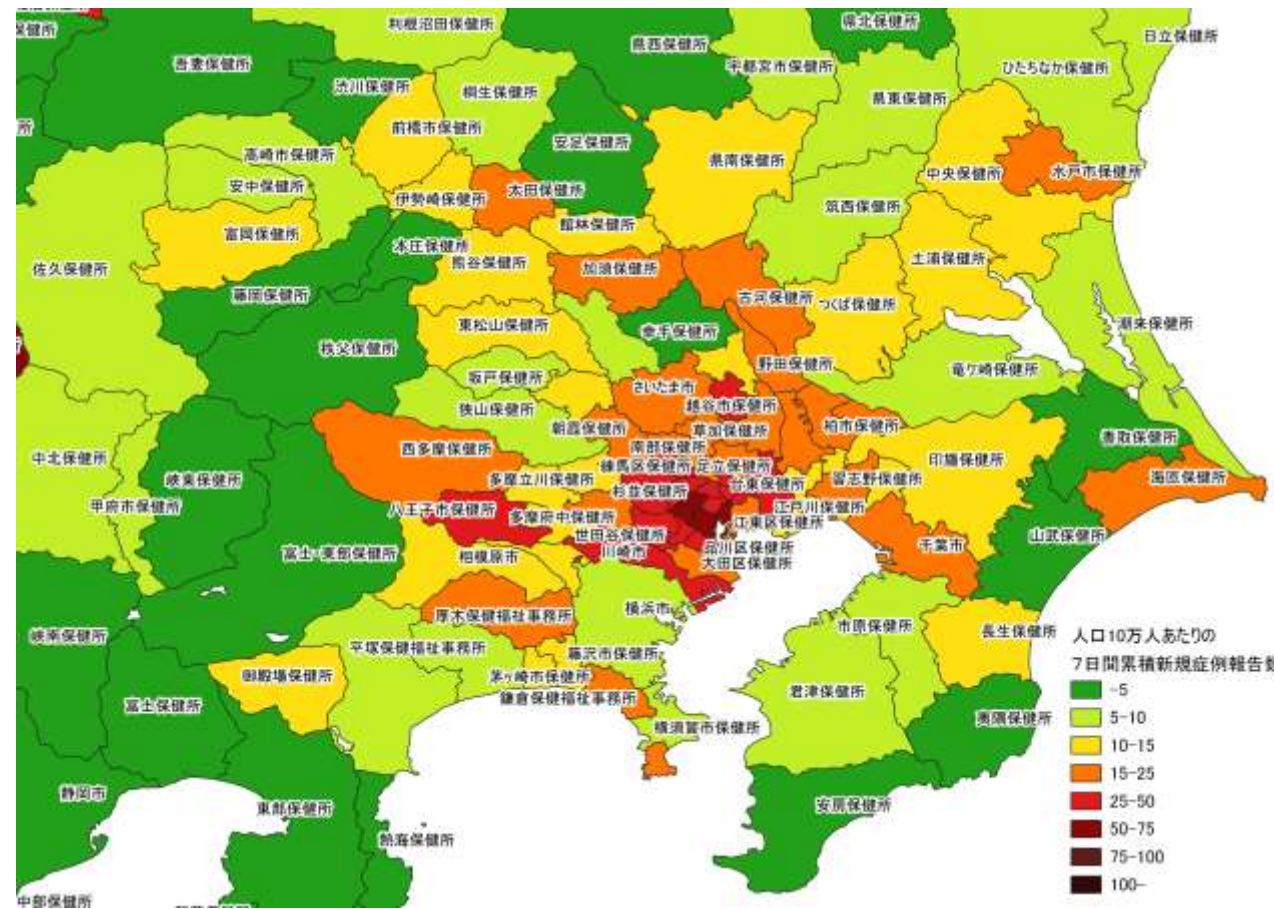


人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ 首都圏（HER-SYS情報）

4/5~4/11



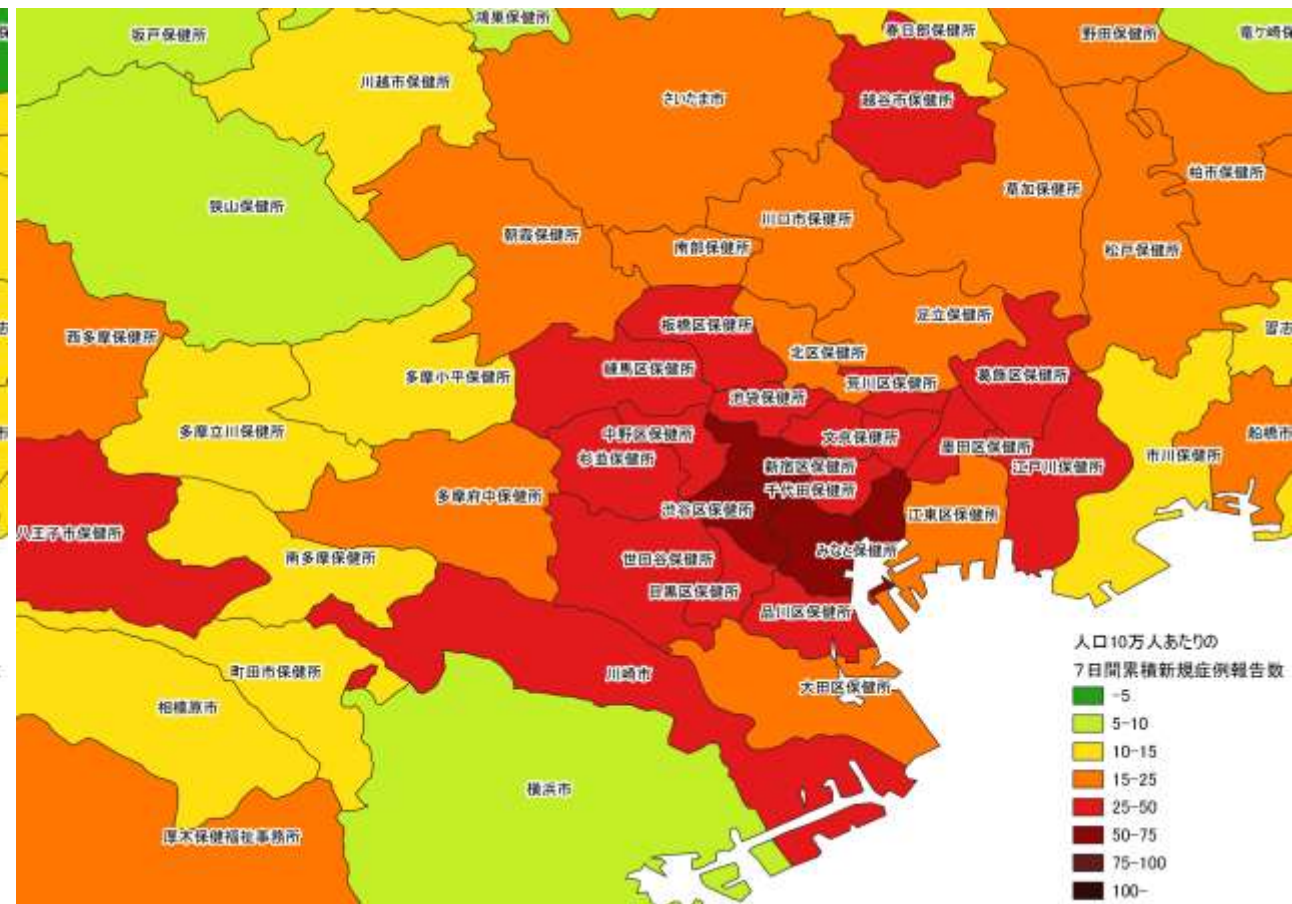
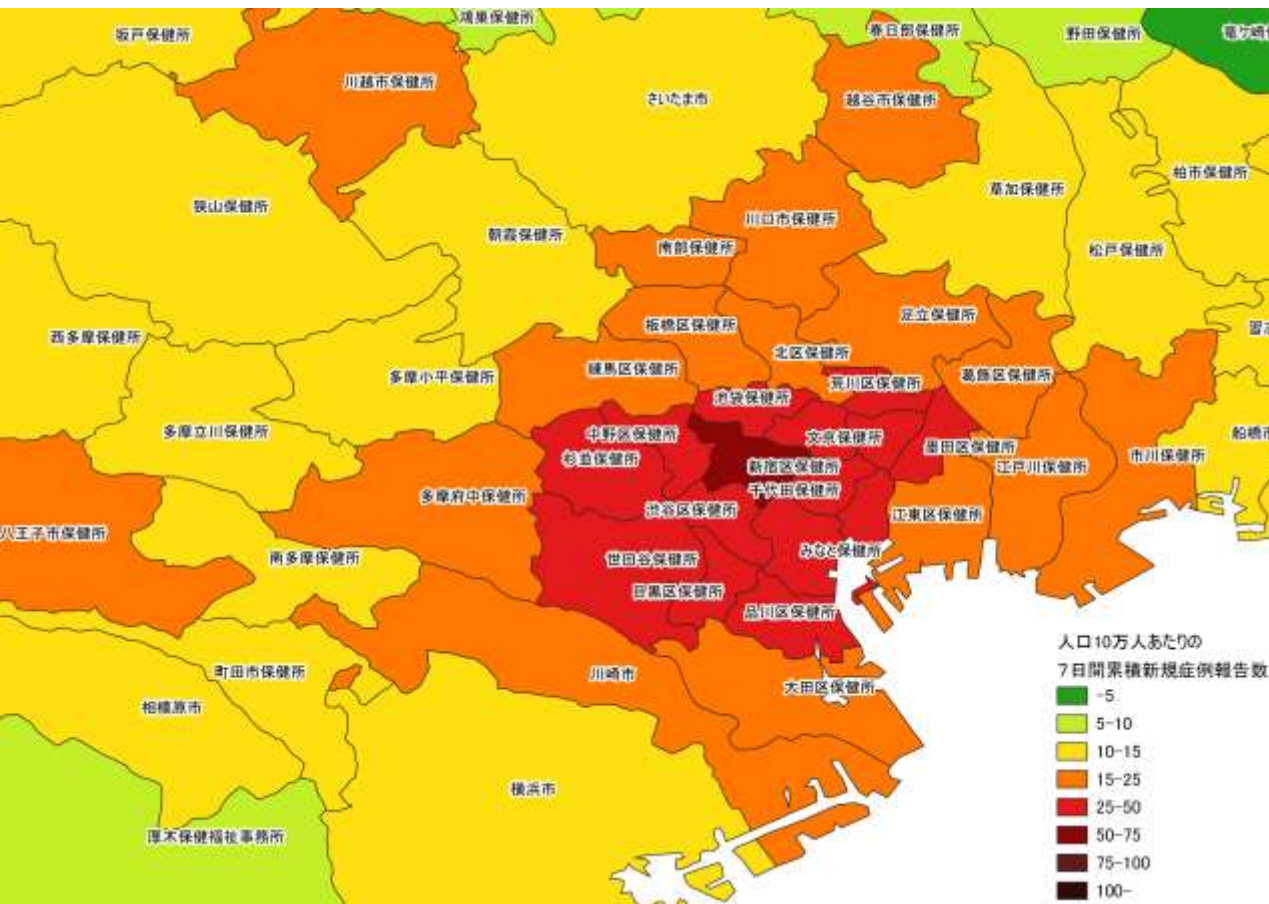
4/12~4/18 **入力遅れによる過小評価の可能性あり**



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ 東京周辺（HER-SYS情報）

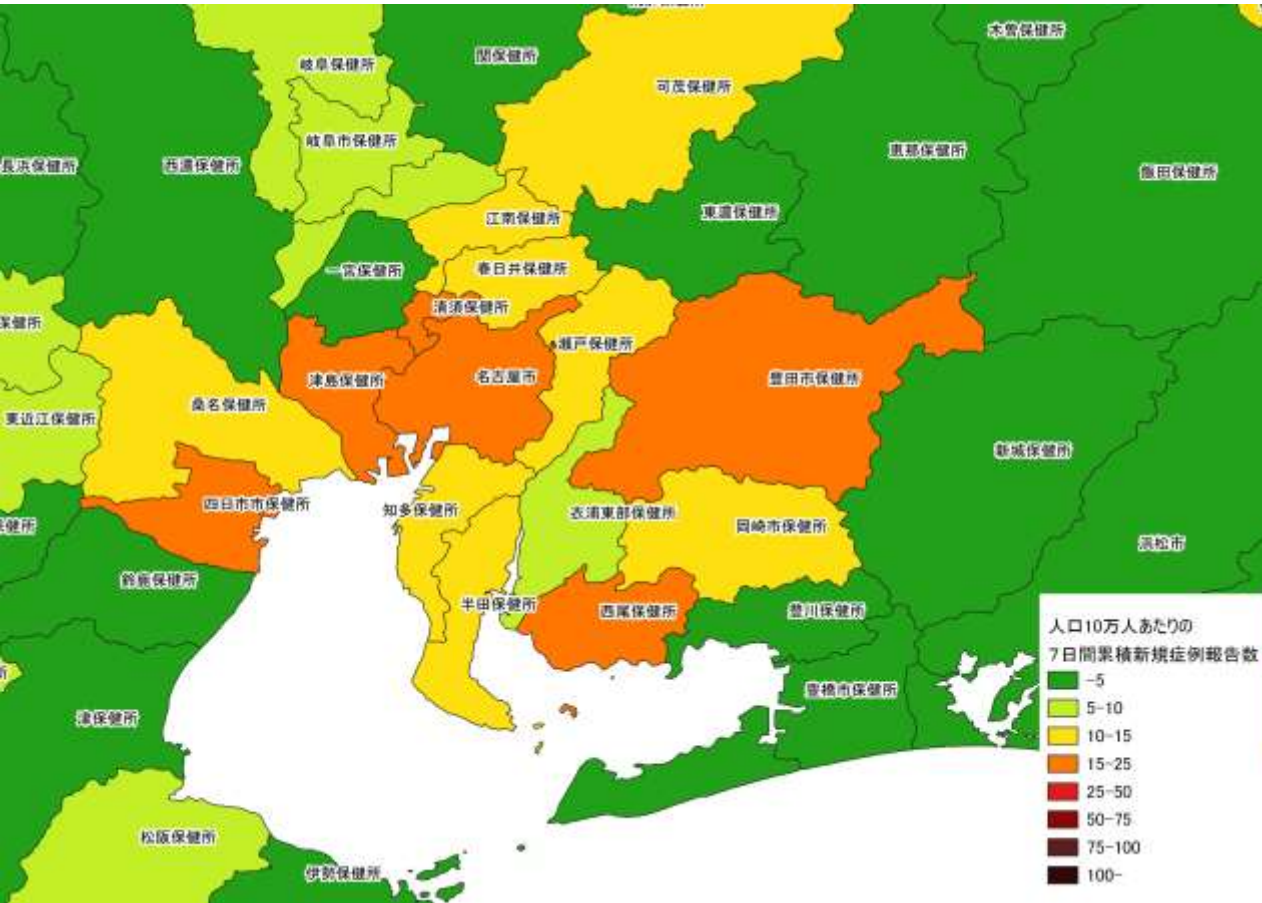
4/5~4/11

4/12~4/18 **入力遅れによる過小評価の可能性あり**



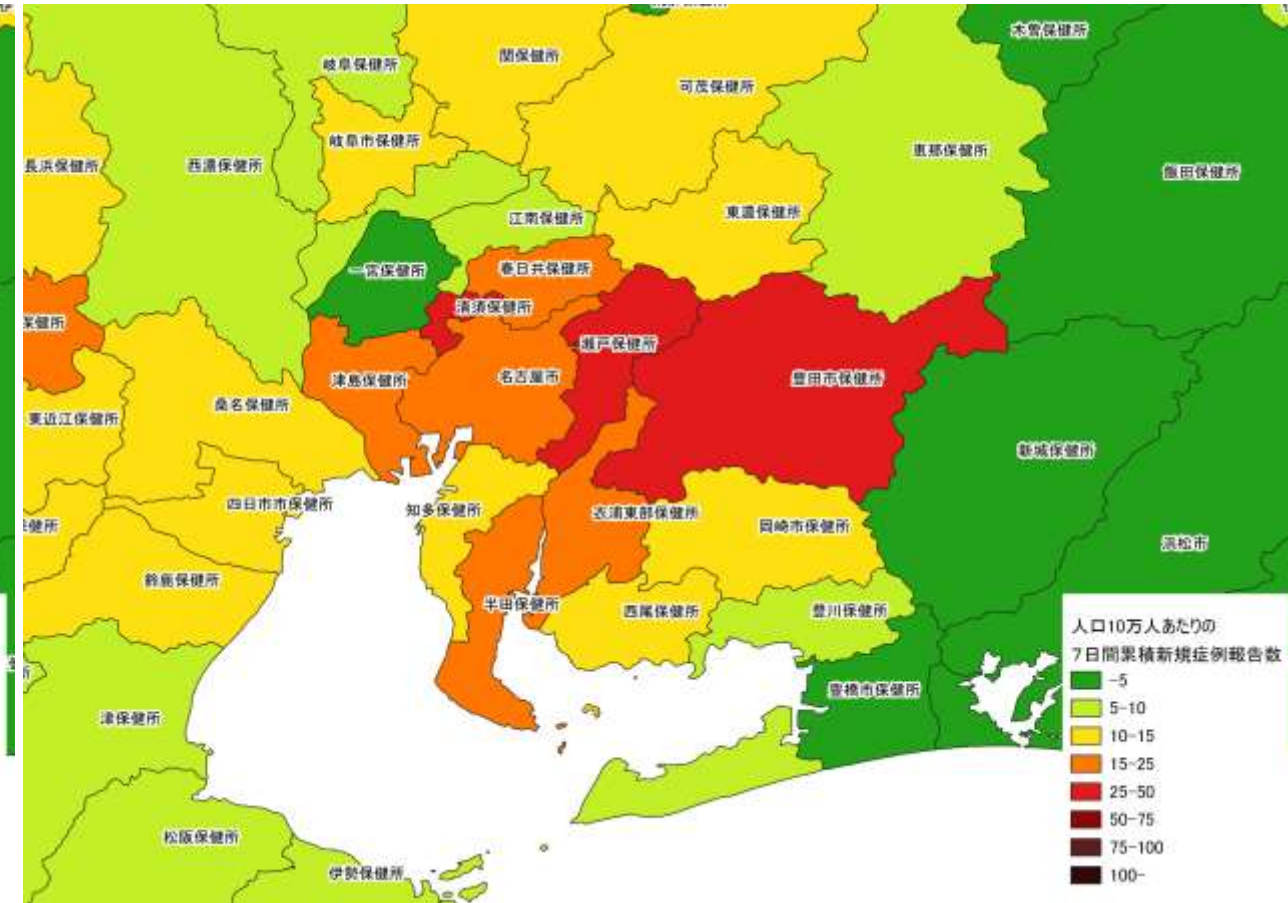
人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ 愛知周辺（HER-SYS情報）

4/5~4/11



4/12~4/18

入力遅れによる過小評価の可能性あり

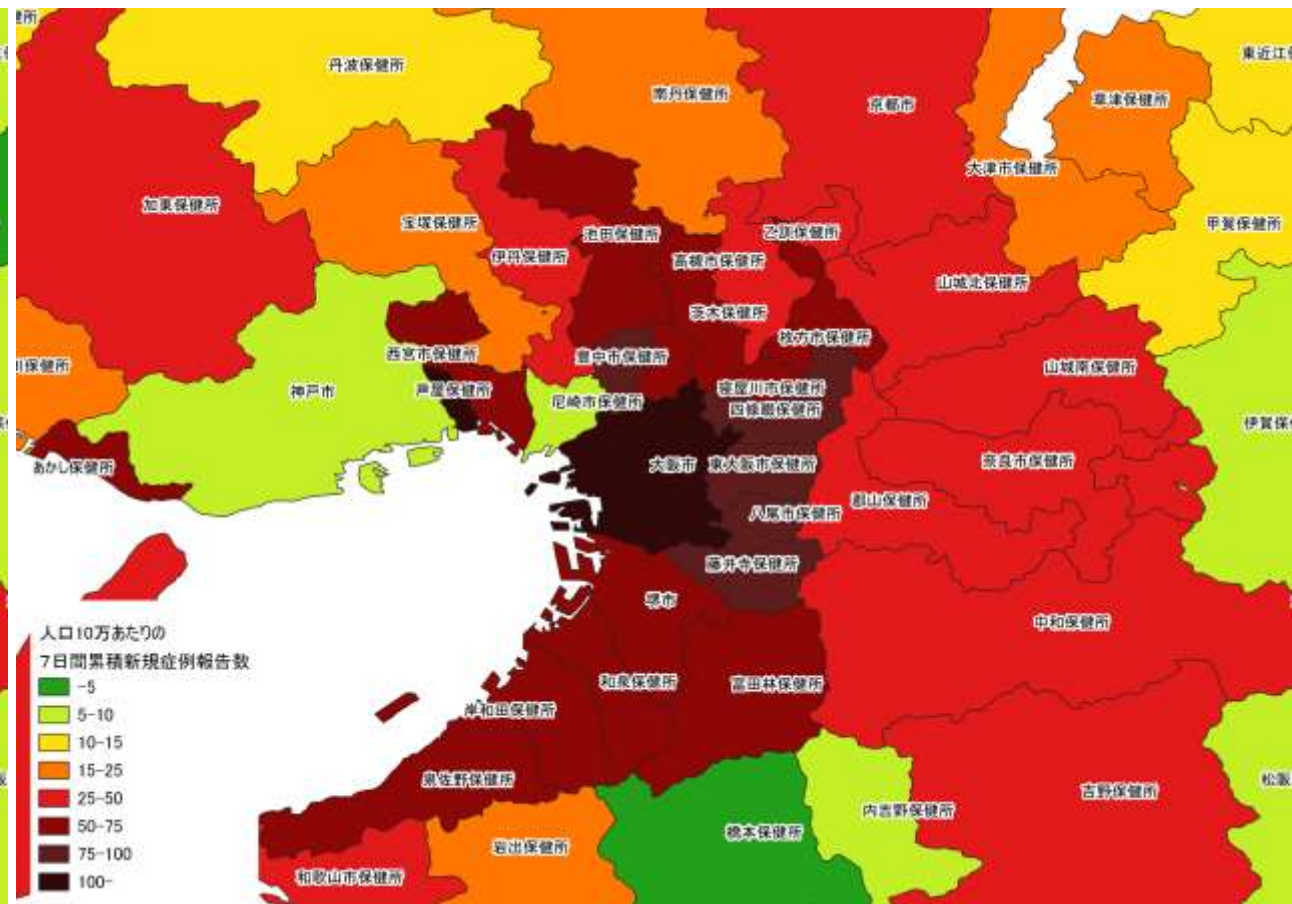
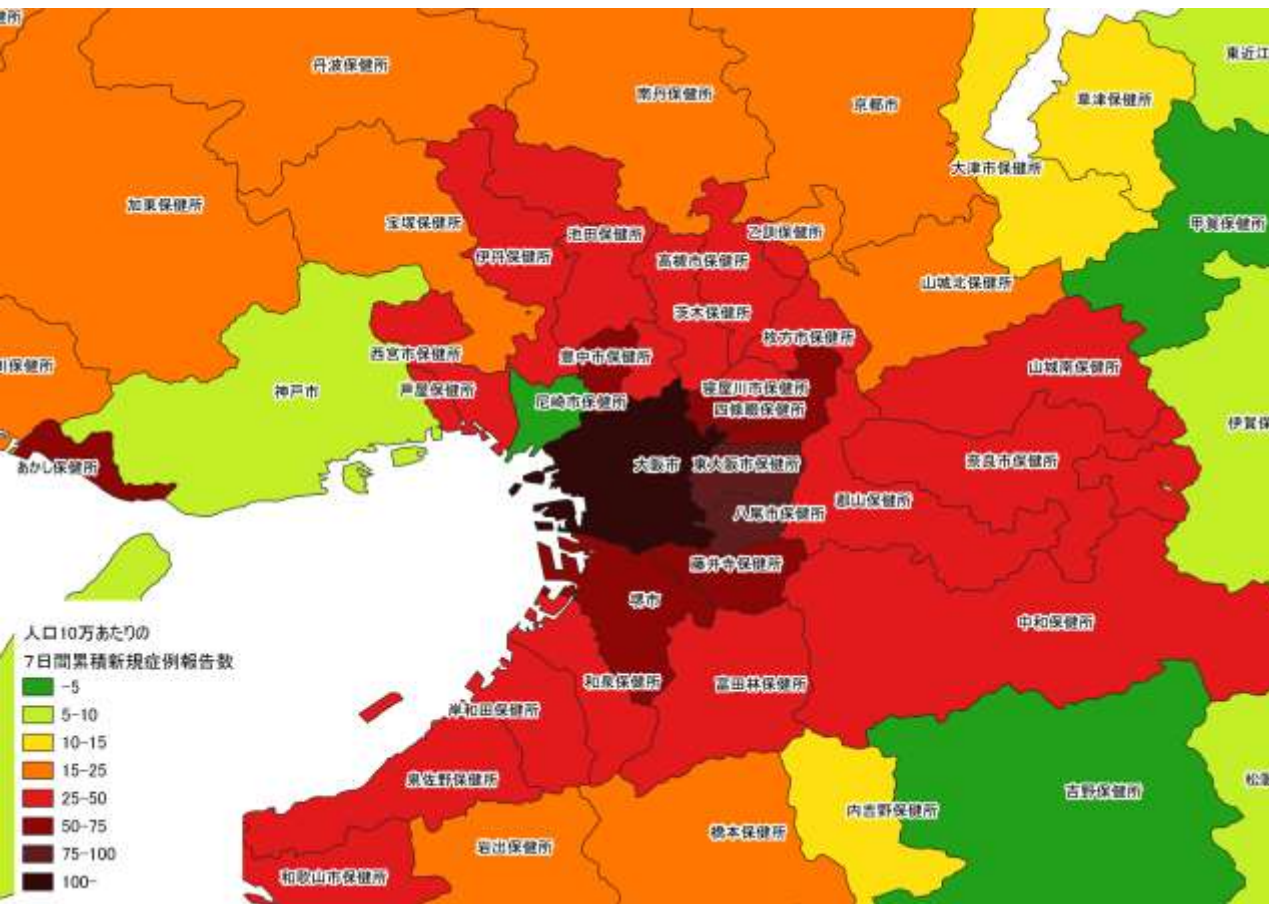


人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ 大阪周辺（HER-SYS情報）

4/5~4/11

4/12~4/18

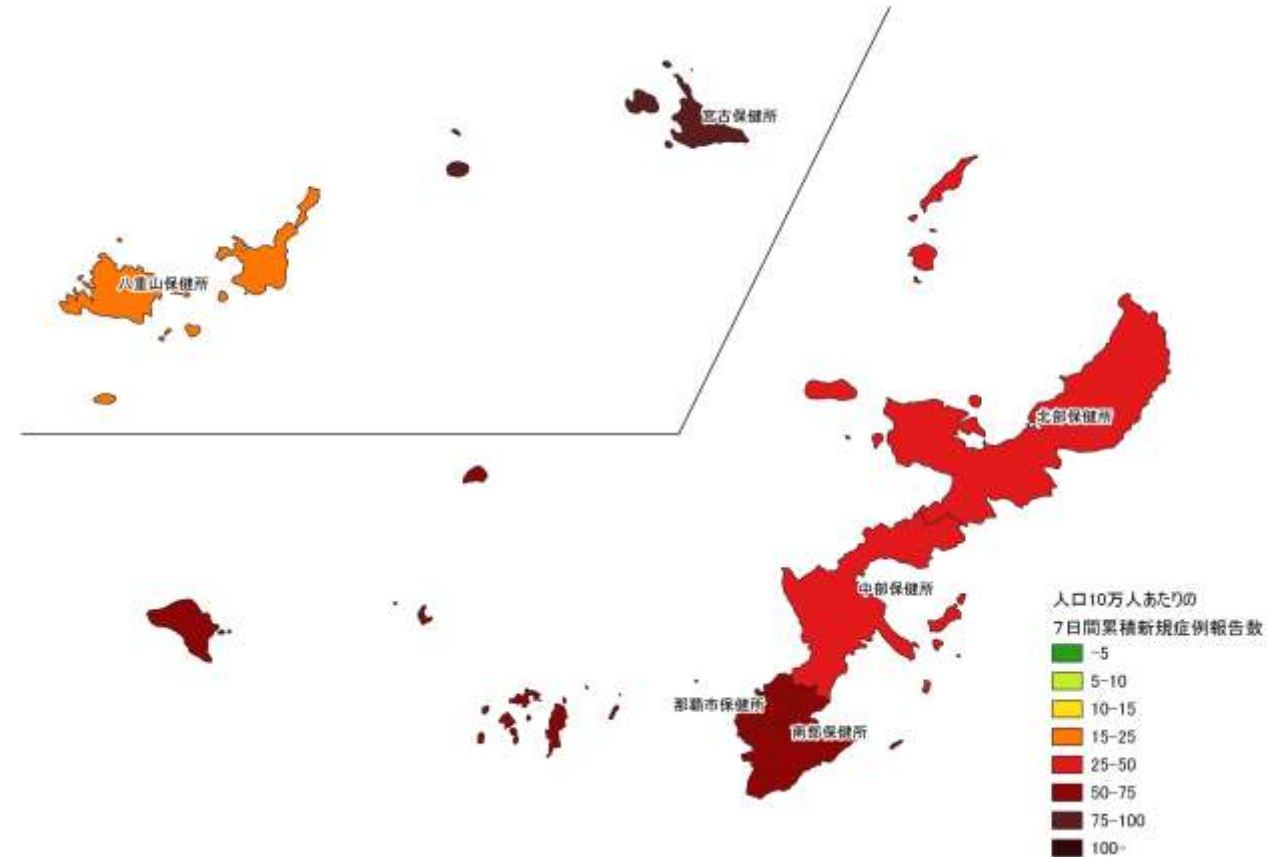
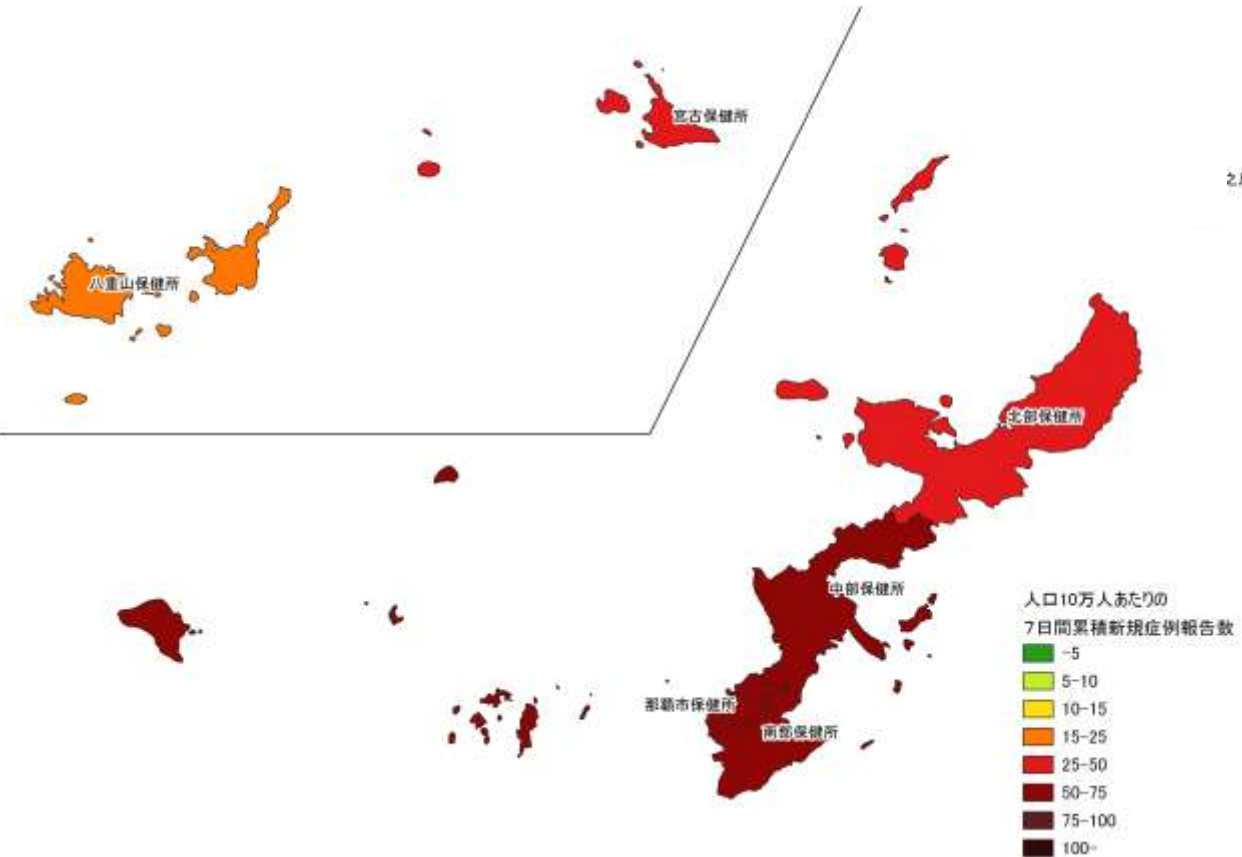
入力遅れによる過小評価の可能性あり



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ 沖縄（HER-SYS情報）

4/5~4/11

4/12~4/18 **入力遅れによる過小評価の可能性あり**



流動人口の推移

データ

- 4月19日時点のAgoop流動人口データ（2020/11/1~2021/4/19）

対象地域

- 4/5 ~ まん延防止等重点措置対象地域：大阪、兵庫、宮城
- 4/12~まん延防止等重点措置対象地域：東京、京都、沖縄
- 4/20~まん延防止等重点措置対象地域：埼玉、千葉、神奈川、愛知

データ表示方法

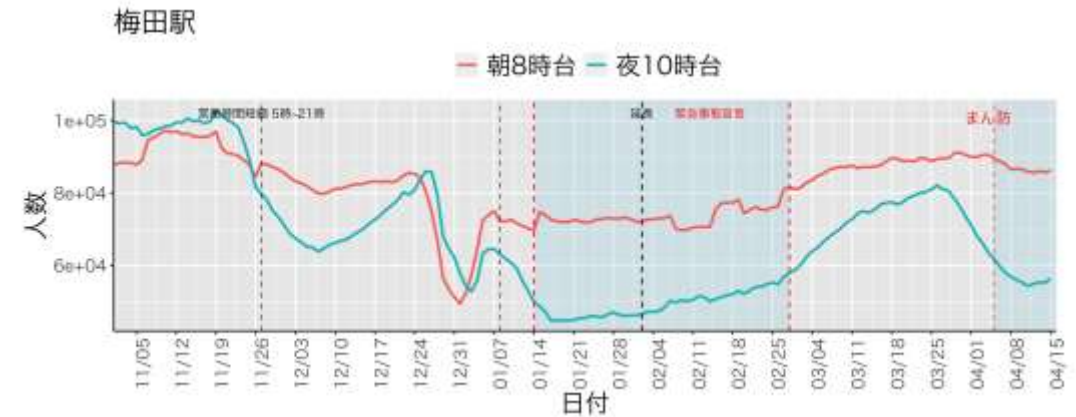
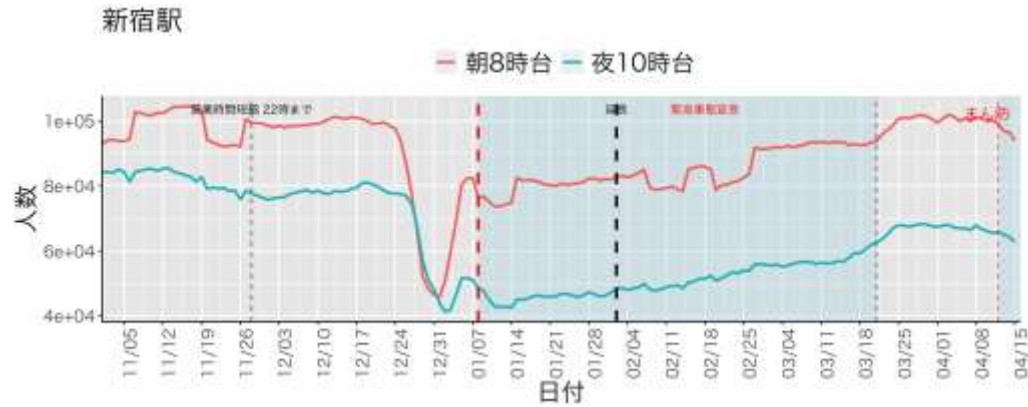
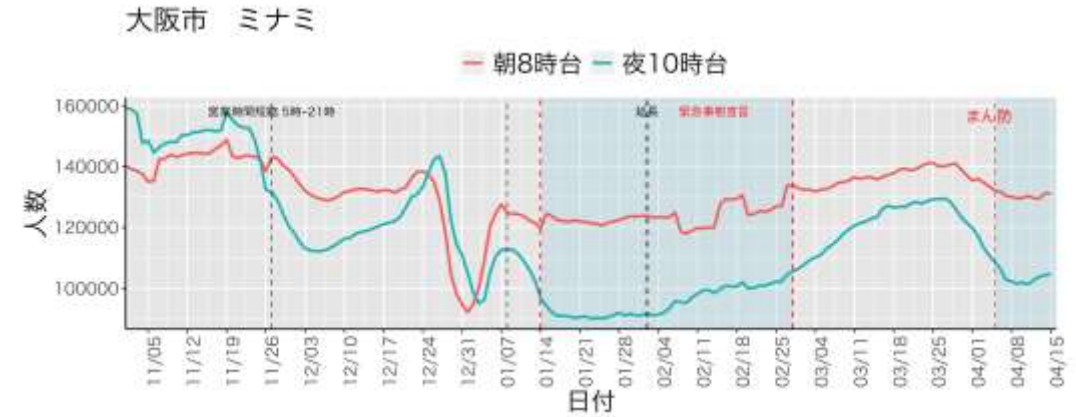
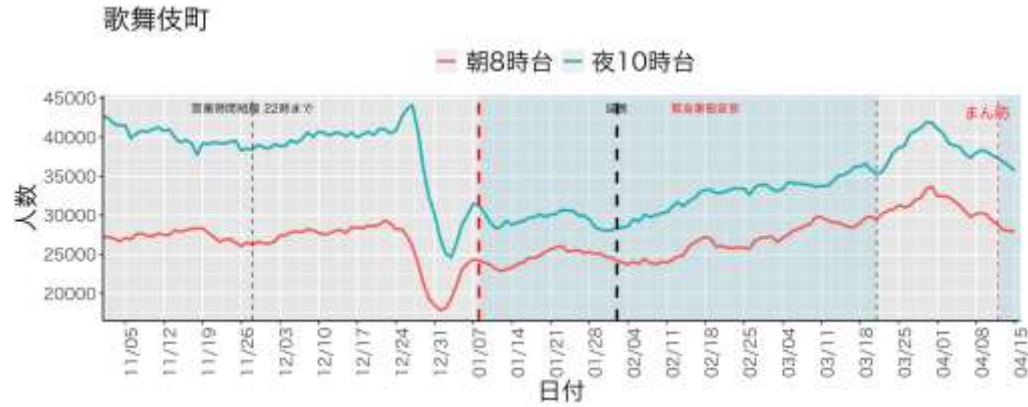
- 東京で緊急事態宣言解除された1月7日を基準日とした4月15日時点の増減率を算出
- 関東以外で緊急事態宣言解除された2月28日を基準日とした4月15日時点の増減率を算出
- 大阪、兵庫、宮城：まん延防止等重点措置が発令された4月5日を基準日とした4月15日時点の増減率を算出
- 東京、京都、沖縄：まん延防止等重点措置が発令された4月12日を基準日とした4月15日時点の増減率を算出

< 要点 >

- 緊急事態宣言中から東京では緩やかな人流の増加がみられていたが、3月後半をピークに減少傾向となった。まん延防止等重点措置開始後も人流は低下しているが、緊急事態宣言時点と比べると減少幅は少ない。
- 関西地域では3/26-28ごろをピークに夜間の人流は減少傾向であったが、朝の人流は横ばいからやや上昇。緊急事態宣言時点ほどの人流減少はない。
- 仙台市や那覇市ではまん延防止等重点措置後、朝と夜の人流どちらも上昇傾向。

東京 まん延防止等重点措置対象地域

大阪 まん延防止等重点措置対象地域

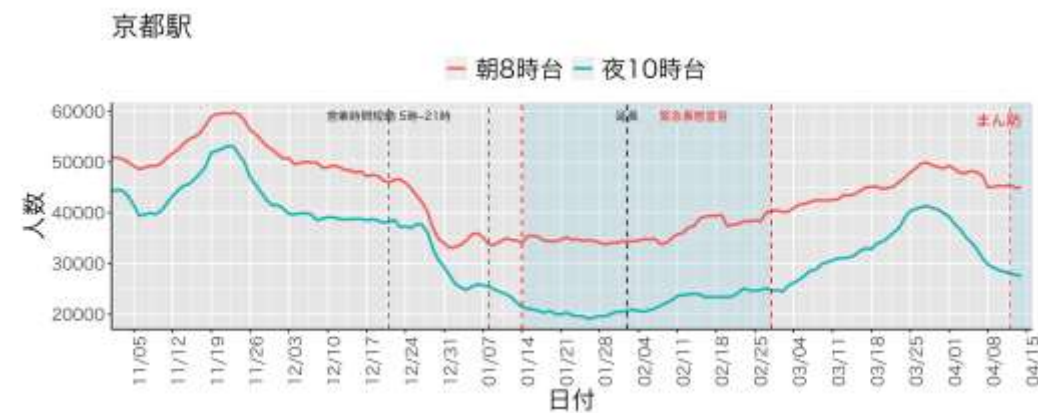
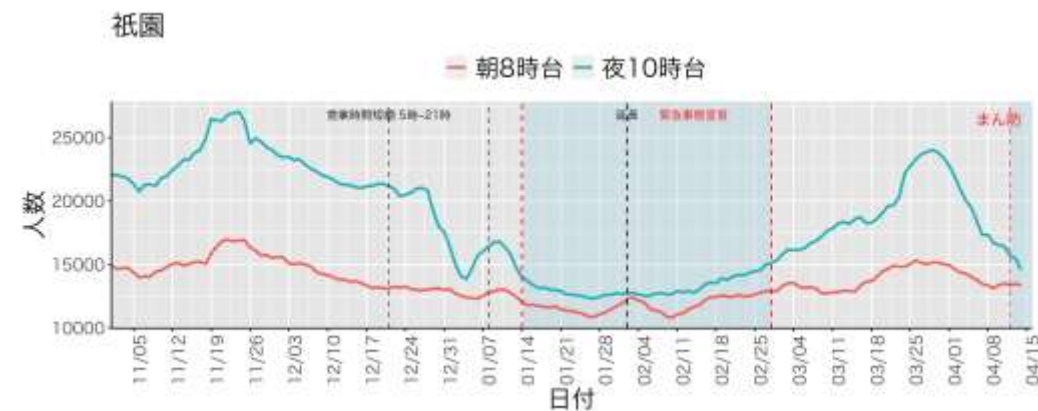
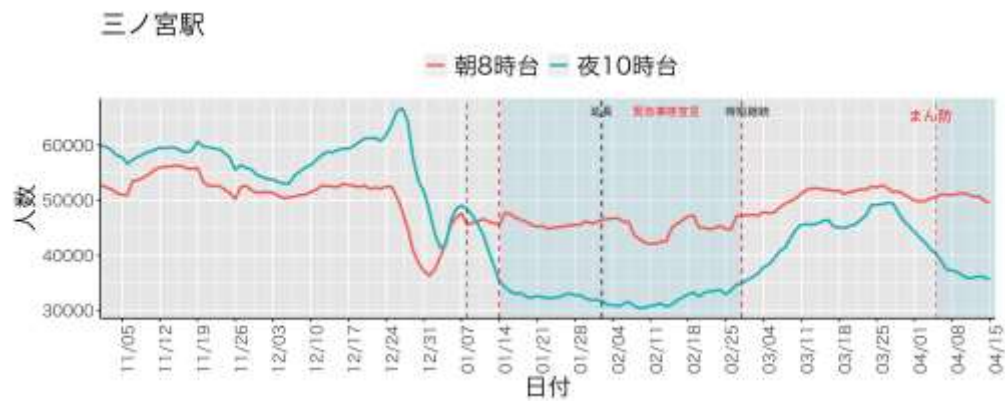


場所	時間帯	1/7と比較	2/28と比較	4/12と比較
歌舞伎町	朝8時台	14.4%	2.7%	-3.1%
	夜10時台	13.5%	5.3%	-4.1%
新宿駅	朝8時台	13.8%	2.8%	-5.3%
	夜10時台	22.9%	12.3%	-4.9%

場所	時間帯	1/7と比較	2/28と比較	4/5と比較
ミナミ	朝8時台	2.7%	-2.1%	-0.8%
	夜10時台	-7.1%	-0.9%	-3.7%
梅田駅	朝8時台	15.0%	5.7%	-3.7%
	夜10時台	-12.6%	-2.6%	-8.9%

兵庫 まん延防止等重点措置対象地域

京都 まん延防止等重点措置対象地域

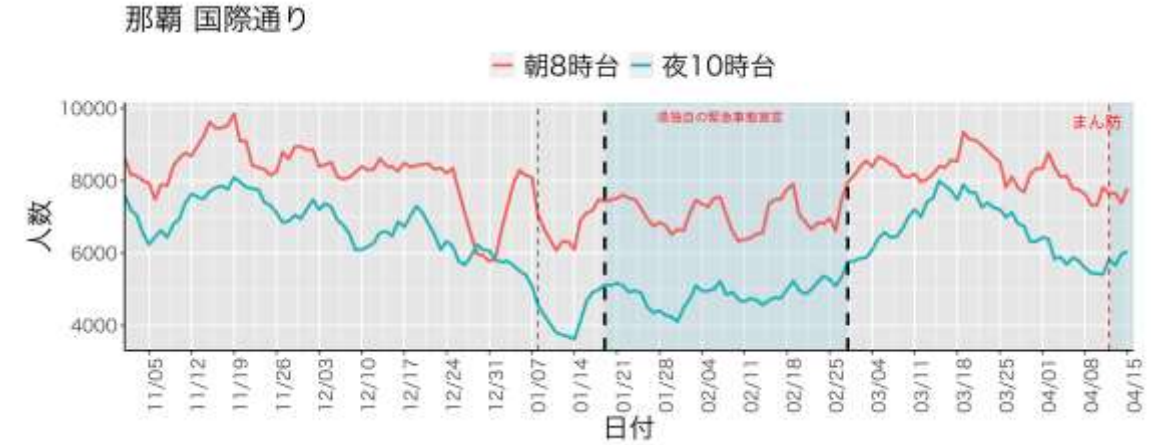
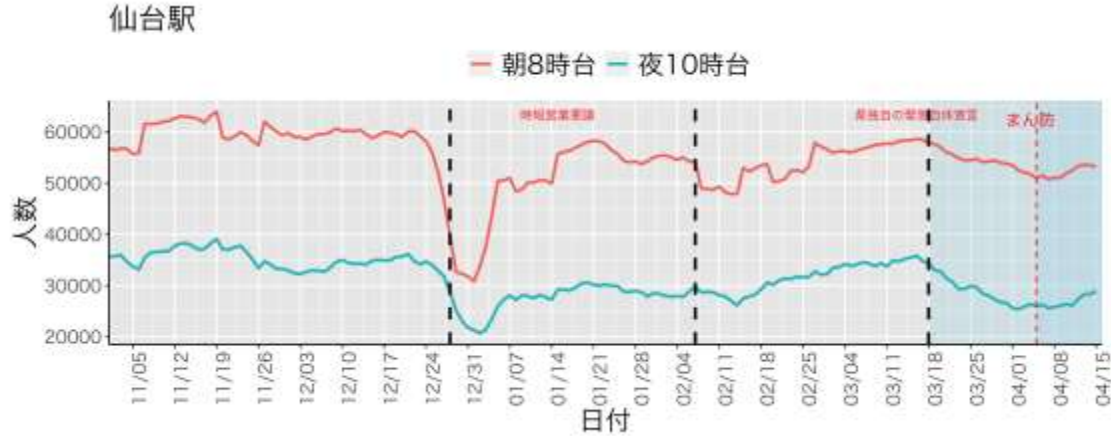


場所	時間帯	1/7と比較	2/28と比較	4/5と比較
三ノ宮駅	朝8時台	4.3%	5.3%	-1.9%
	夜10時台	-27.2%	2.3%	-11.5%
元町エリア	朝8時台	13.5%	4.4%	2.9%
	夜10時台	-0.3%	1.2%	-6.1%

場所	時間帯	1/7と比較	2/28と比較	4/12と比較
祇園	朝8時台	4.5%	1.9%	-1.8%
	夜10時台	-10.5%	-4.8%	-8.5%
京都駅	朝8時台	28.9%	12.4%	-0.5%
	夜10時台	7.7%	11.8%	-1.6%

仙台 まん延防止等重点措置対象地域

沖縄 まん延防止等重点措置対象地域

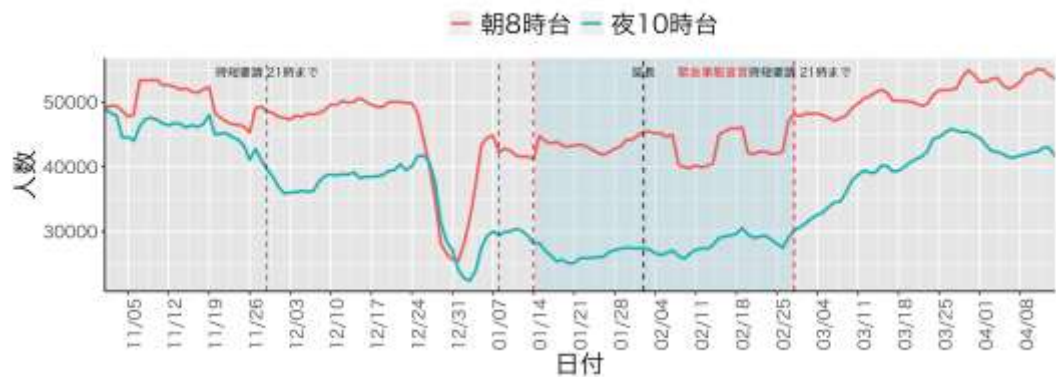


場所	時間帯	1/7と比較	2/28と比較	4/5と比較
仙台駅	朝8時台	4.3%	-6.9%	4.4%
	夜10時台	3.1%	-9.9%	11.6%

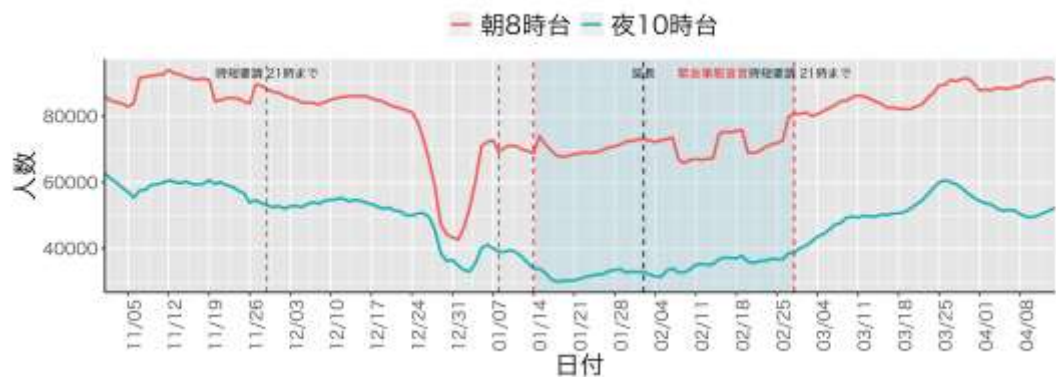
場所	時間帯	1/7と比較	2/28と比較	4/12と比較
国際通り	朝8時台	-3.8%	-2.1%	2.0%
	夜10時台	18.4%	4.9%	3.5%

愛知

栄駅

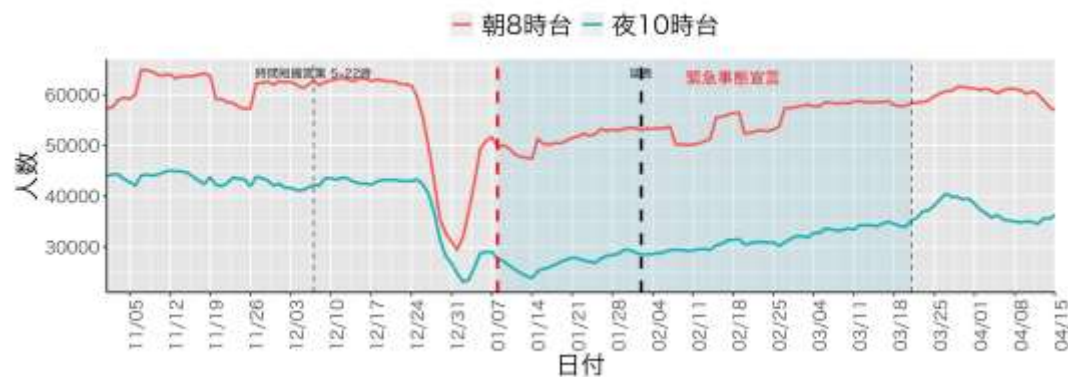


名古屋駅

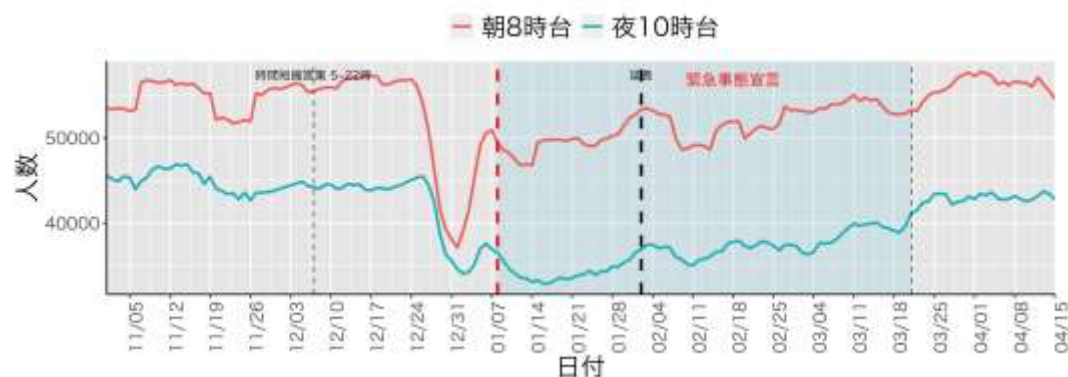


神奈川

横浜駅



川崎駅



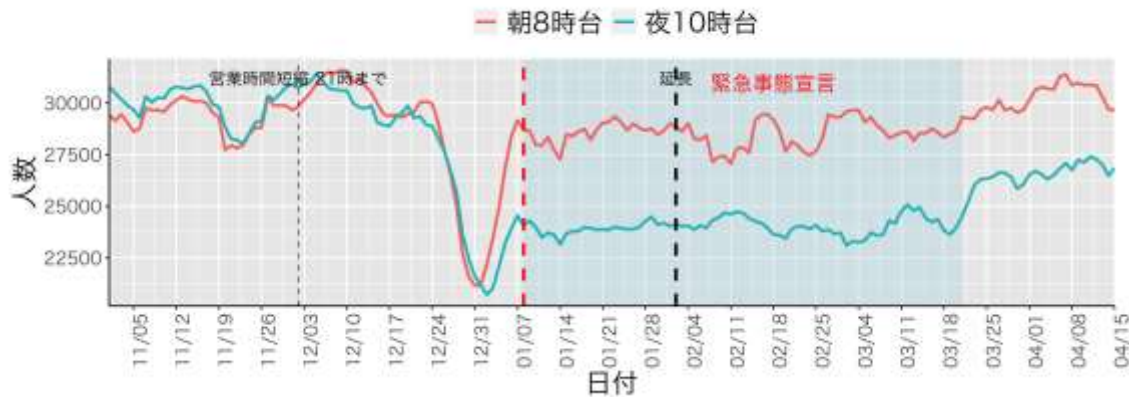
場所	時間帯	1/7と比較	2/28と比較
栄駅	朝8時台	18.6%	10.6%
	夜10時台	38.4%	37.6%
名古屋駅	朝8時台	23.3%	11.1%
	夜10時台	33.0%	36.9%

場所	時間帯	1/7と比較	2/28と比較
横浜駅	朝8時台	10.2%	-0.8%
	夜10時台	24.9%	14.8%
川崎駅	朝8時台	7.2%	2.4%
	夜10時台	15.8%	14.2%

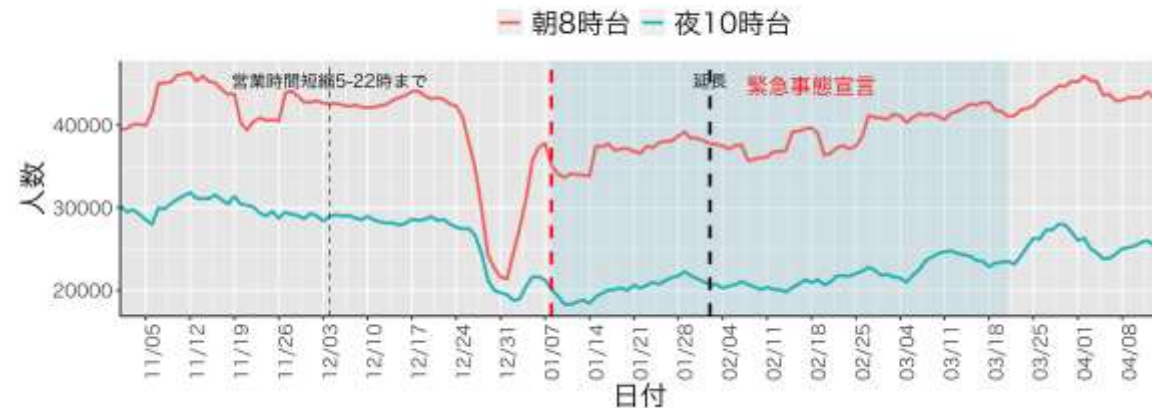
千葉

埼玉

船橋駅



大宮駅

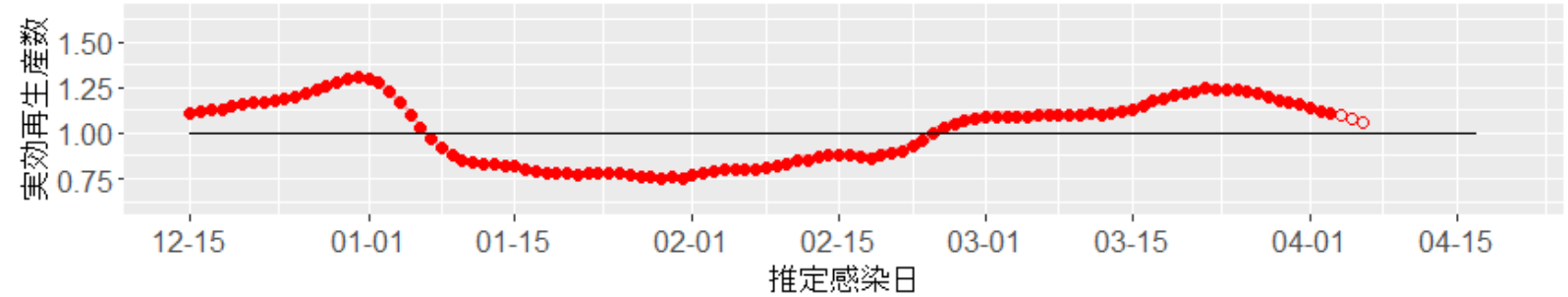


場所	時間帯	1/7と比較	2/28と比較
船橋駅	朝8時台	1.7%	1.1%
	夜10時台	9.4%	13.5%

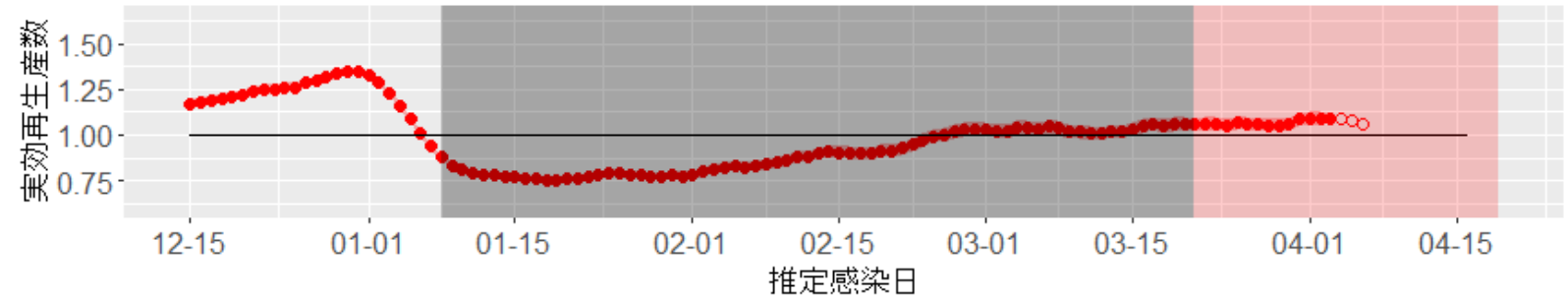
場所	時間帯	1/7と比較	2/28と比較
大宮駅	朝8時台	12.7%	4.1%
	夜10時台	16.0%	9.9%

全国の実効再生産数（推定感染日毎）：4月19日作成

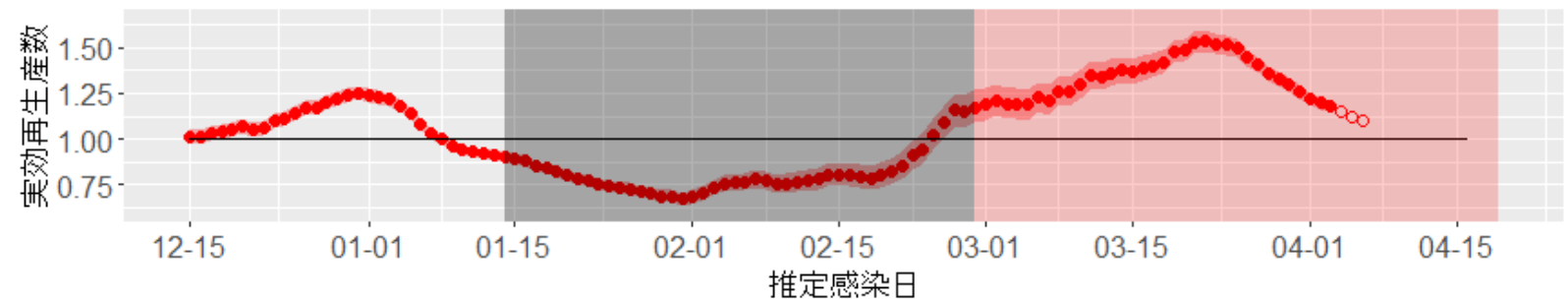
全国
4月3日時点Rt=1.11 (1.13-1.09)



首都圏：東京、神奈川、千葉、埼玉
4月3日時点Rt=1.09 (1.05-1.12)

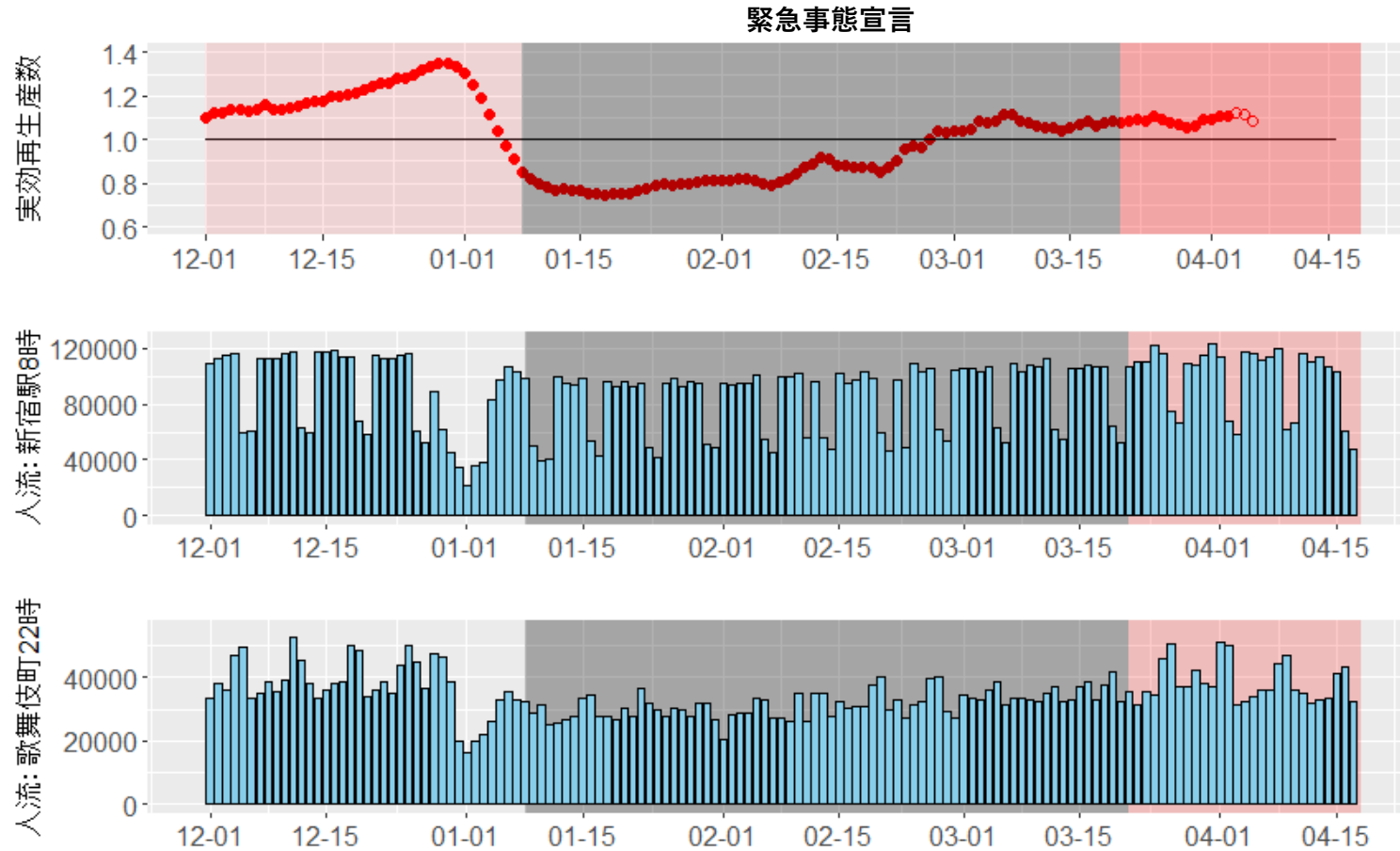


関西圏：大阪、京都、兵庫
4月3日時点Rt=1.18 (1.15-1.21)



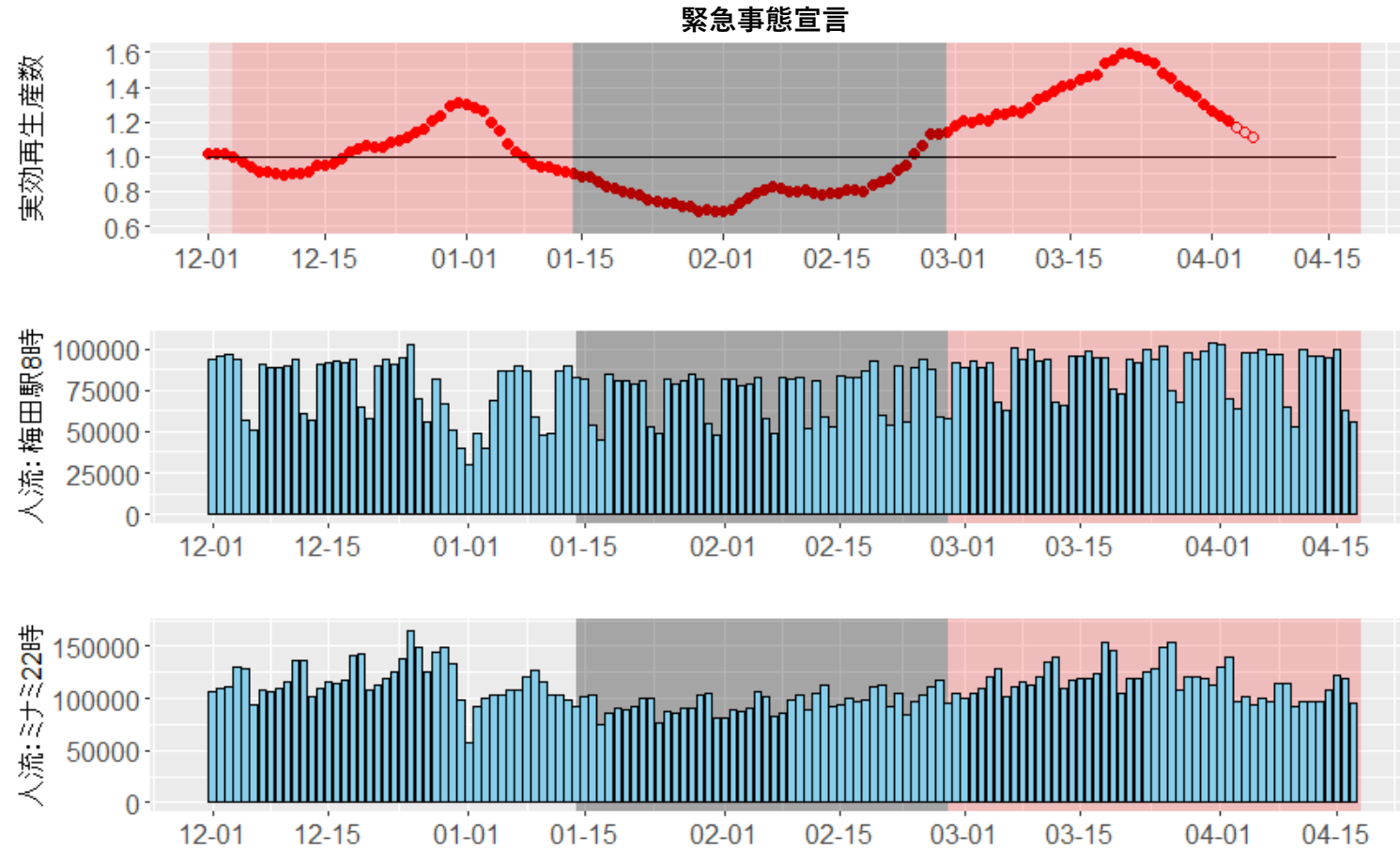
実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。括弧内の値と図中の赤帯は95%信頼区間を表す。
なお、発症日の入力率、公表率は自治体によりばらつきが大きく、また事後的に修正される可能性があるため、値は暫定値である。

東京都の実効再生産数（推定感染日毎）と人流：4月19日作成



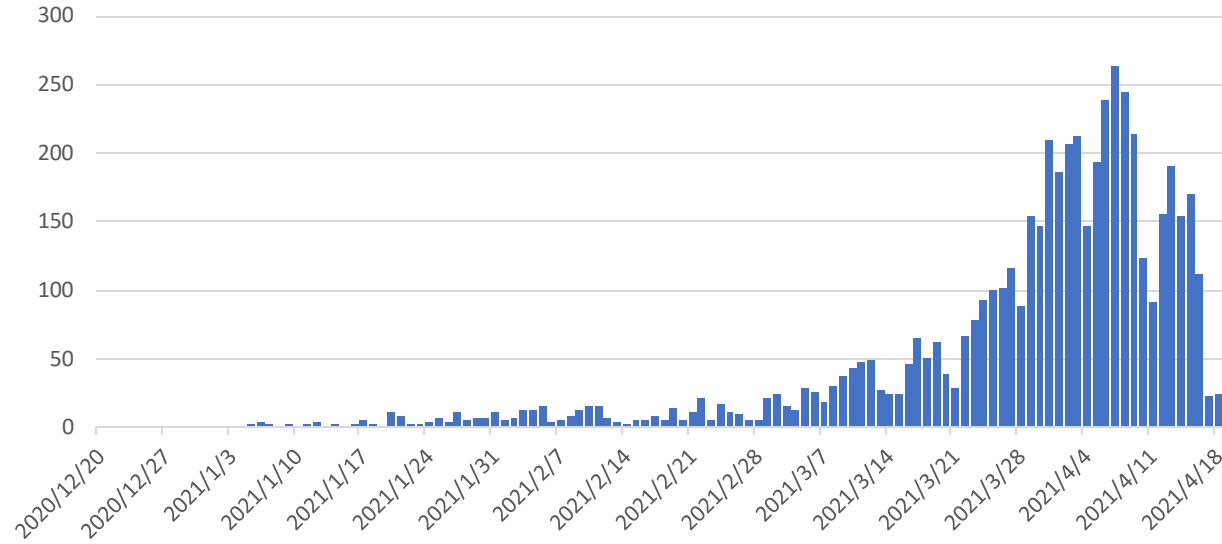
実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。括弧内の値と図中の赤帯は95%信頼区間を表す。なお、発症日の入力率、公表率は自治体によりばらつきが大きく、また事後的に修正される可能性があるため、値は暫定値である。人流データは株式会社Agoopのものを用いた。

大阪府の実効再生産数（推定感染日毎）と人流：4月19日作成

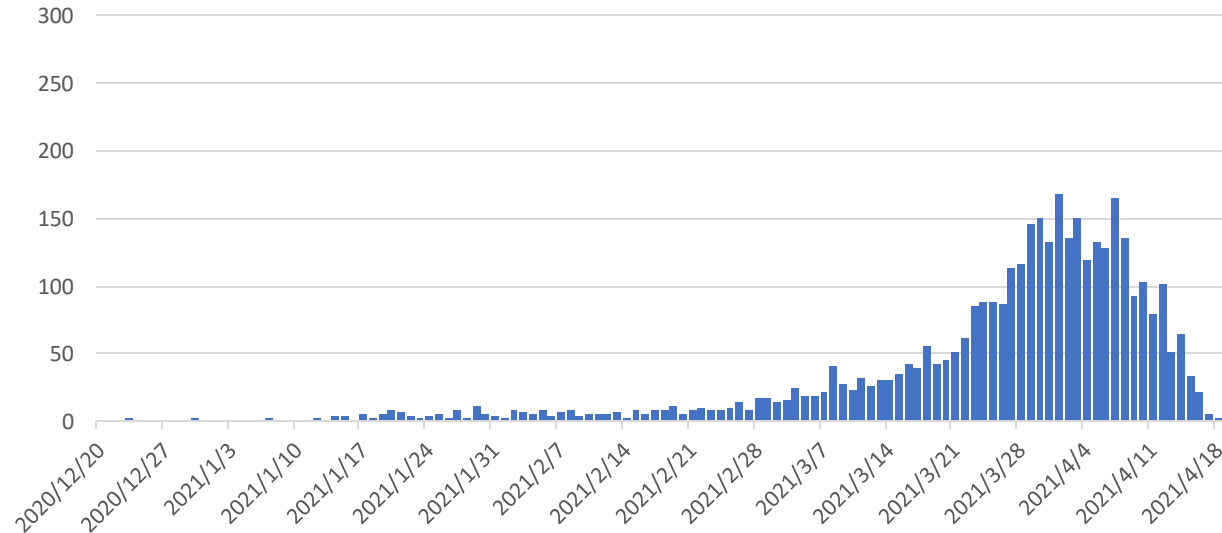


実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。括弧内の値と図中の赤帯は95%信頼区間を表す。なお、発症日の入力率、公表率は自治体によりばらつきが大きく、また事後的に修正される可能性があるため、値は暫定値である。人流データは株式会社Agoopのものを用いた。

報告日別新規変異株症例届出数
(2020年12月20日～2021年4月18日) n=5,218



発症日別新規変異株症例届出数
(2020年12月20日～2021年4月18日) n=3,729



HER-SYSに登録された新規変異株症例のまとめ（4月19日時点）

		ゲノム解析		
		実施	未実施	計
変異株 PCR	陽性	1,488	3,645	
	未実施	77		
	判定不能	8		
計		1,573	3,645	5,218

株	N=5,218
英国	1,347
南アフリカ	18
ブラジル	62
その他	112
空欄	3,679

性別	N=5,218
男性	2,877
女性	2,329
不明	12

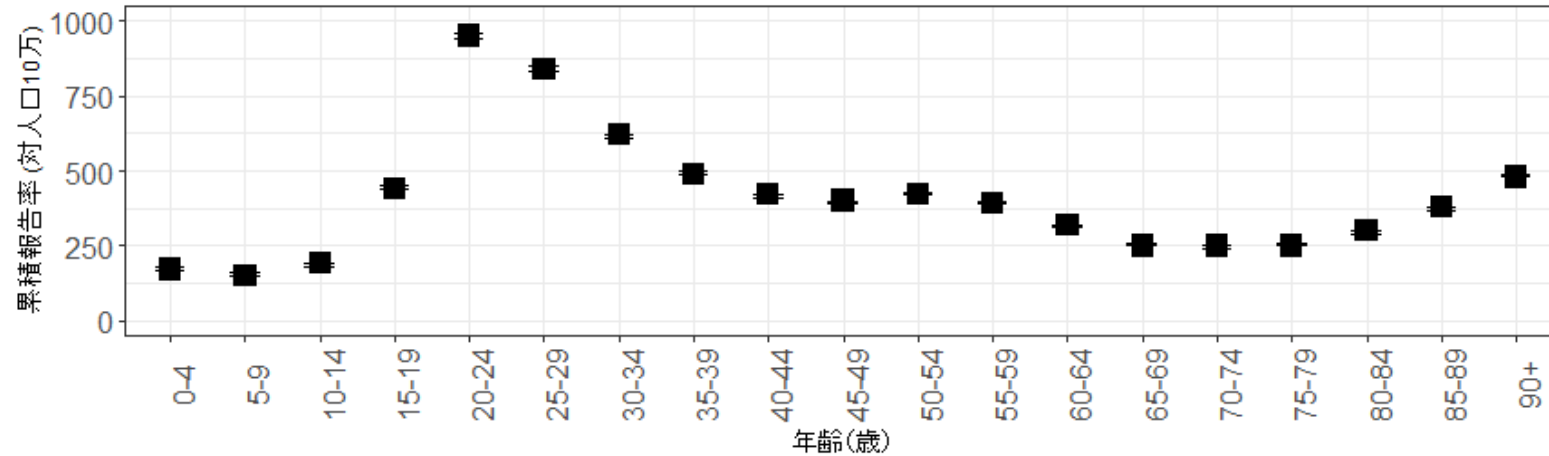
症状/発生届	N=5,218
肺炎	184
重篤な肺炎	34
ARDS	7
多臓器不全	1
死亡*	35

年齢	度数 N=5,218	割合
10歳未満	279	5%
10代	536	10%
20代	1,392	27%
30代	645	12%
40代	766	15%
50代	658	13%
60代	357	7%
70代	299	6%
80代	231	4%
90代以上	49	1%
不明	6	

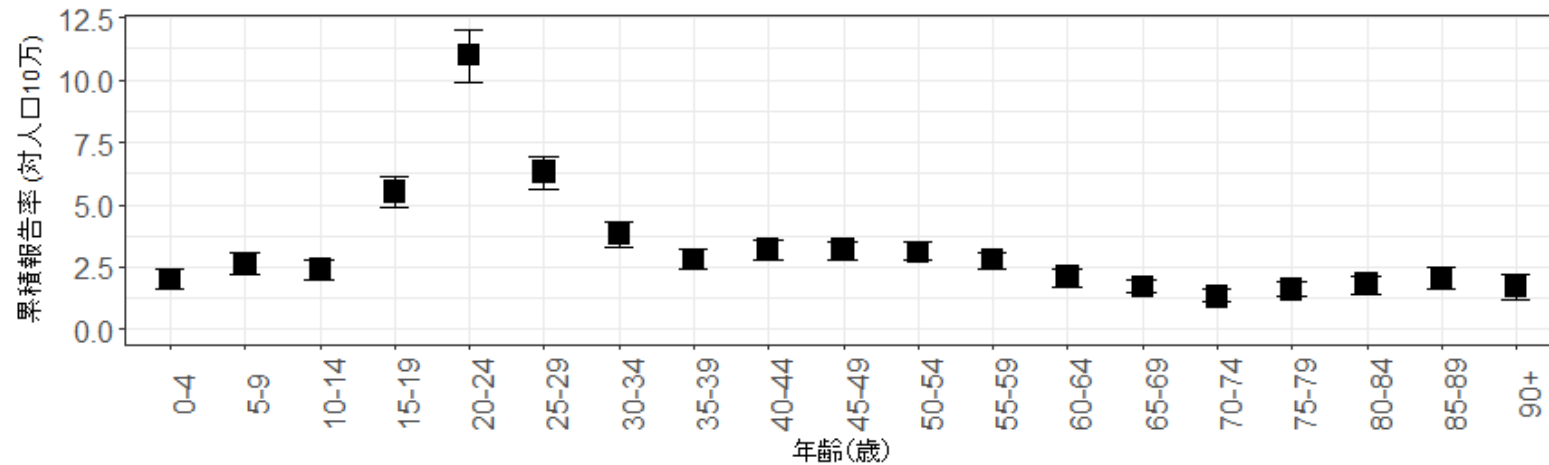
*措置判定記録として死亡年月日があるもの

日本国内で報告された新規変異ウイルス症例の年齢群別累積報告率： 2020年12月1日から2021年4月17日まで

従来ウイルス症例



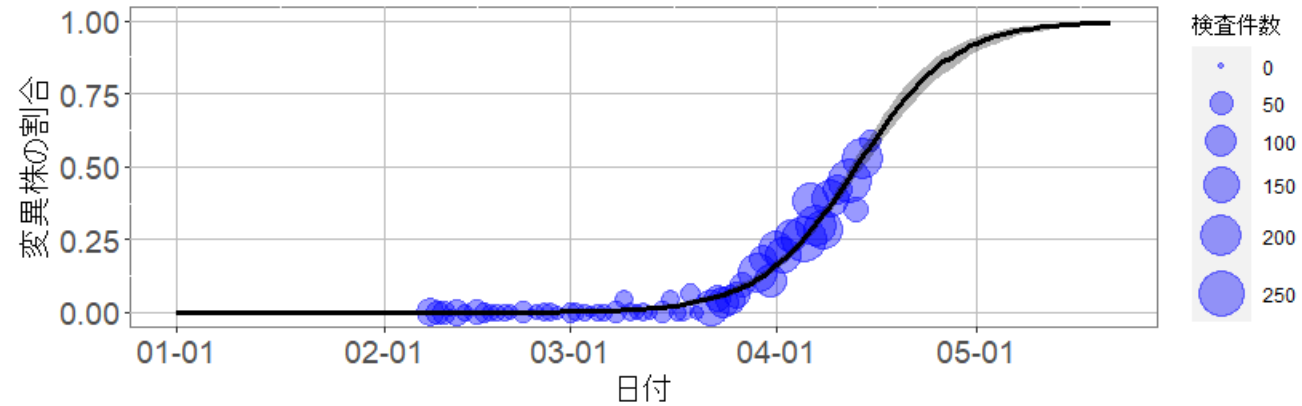
VOC-202012/01症例



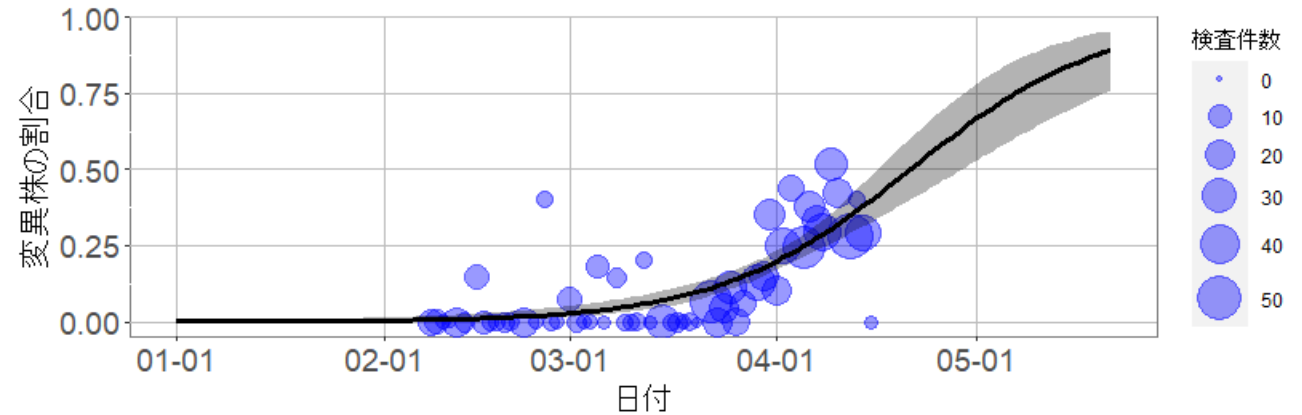
国立感染症研究所「日本国内で報告された新規変異株症例の疫学的分析(第1報)」の図2を更新したもの。
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/10279-covid19-40.html>

SARS-CoV-2陽性検体に占める501Y変異の割合：4月19日時点

東京
N*=741/3800



神奈川
N=135/813

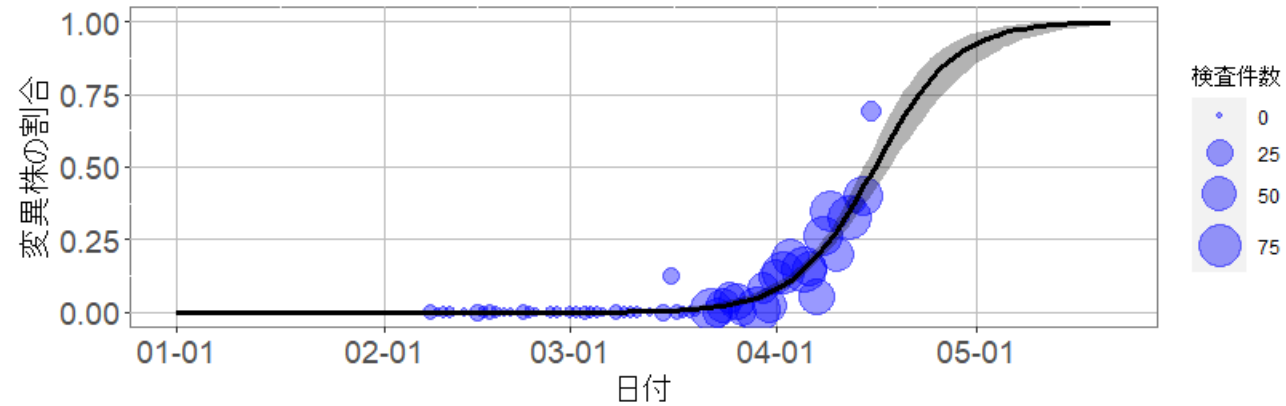


*501Y変異検出数/501Y-PCRスクリーニング件数

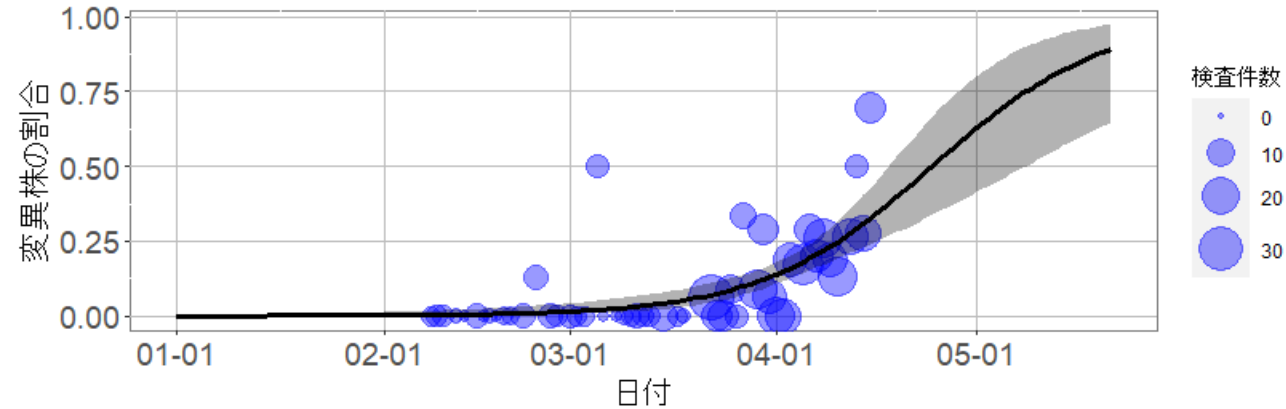
データは民間検査会社（3社）の501Y-PCRスクリーニング検査の結果を用いた。原則的に各社のSARS-CoV-2陽性検体は全て501Y-PCR検査が実施された。図中の円の中心は日ごとの501Y変異割合の点推定値、円の大きさは日ごとの501Y-PCR検査件数を表す。推定に際しては、最終的にすべてのウイルスが501Y変異を有するウイルスに置き換わることを前提としている。また推定値には不確実性があり（図中では95%信頼区間をグレーで示している）、今後、スクリーニング件数が増えることで値が変化する可能性がある。

SARS-CoV-2陽性検体に占める501Y変異の割合：4月19日時点

埼玉
N*=181/1299



千葉
N=65/491

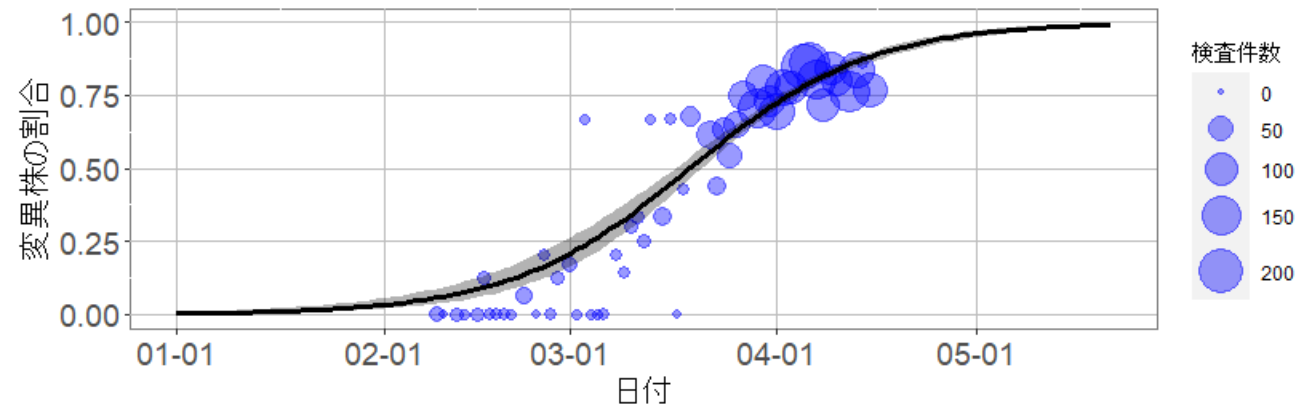


*501Y変異検出数/501Y-PCRスクリーニング件数

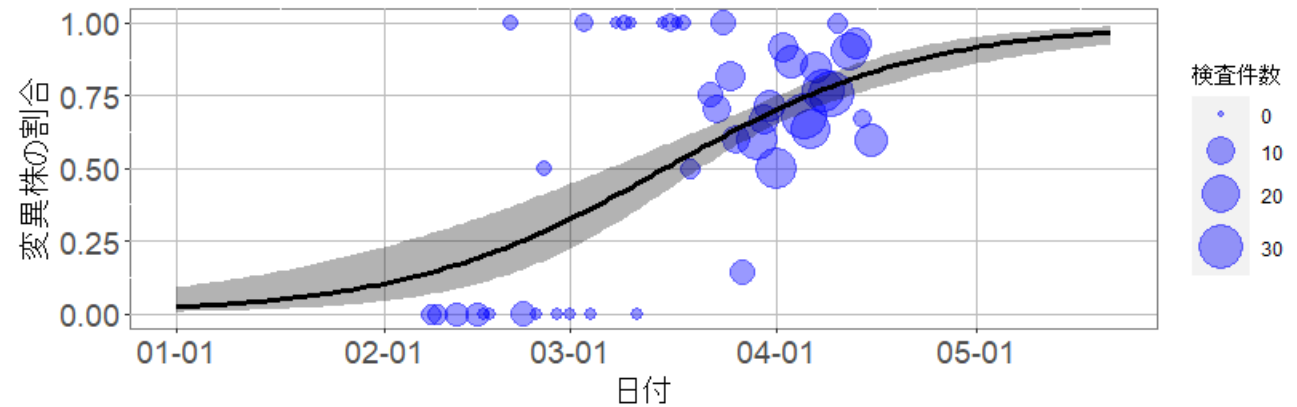
データは民間検査会社（3社）の501Y-PCRスクリーニング検査の結果を用いた。原則的に各社のSARS-CoV-2陽性検体は全て501Y-PCR検査が実施された。図中の円の中心は日ごとの501Y変異割合の点推定値、円の大きさは日ごとの501Y-PCR検査件数を表す。推定に際しては、最終的にすべてのウイルスが501Y変異を有するウイルスに置き換わることを前提としている。また推定値には不確実性があり（図中では95%信頼区間をグレーで示している）、今後、スクリーニング件数が増えることで値が変化する可能性がある。

SARS-CoV-2陽性検体に占める501Y変異の割合：4月19日時点

大阪
N*=1757/2473



兵庫
N=262/393

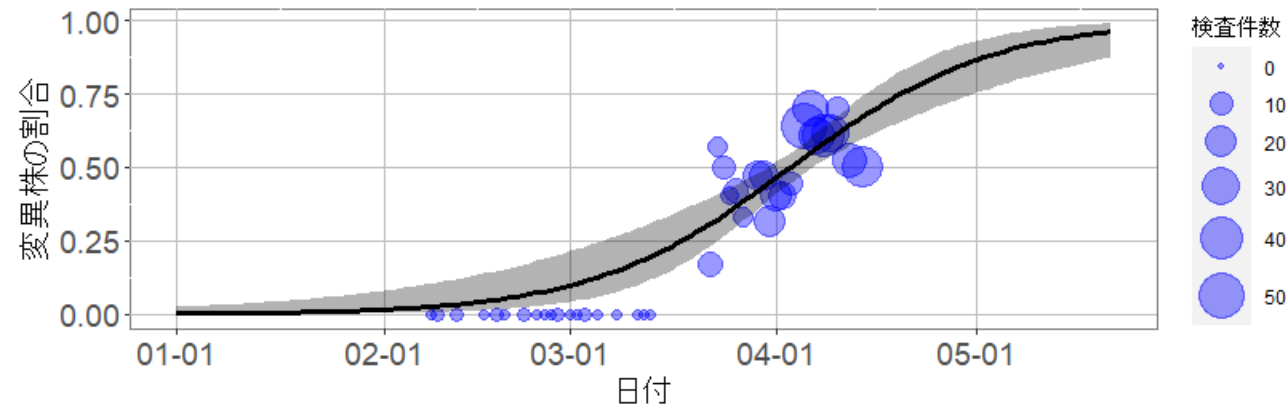


*501Y変異検出数/501Y-PCRスクリーニング件数

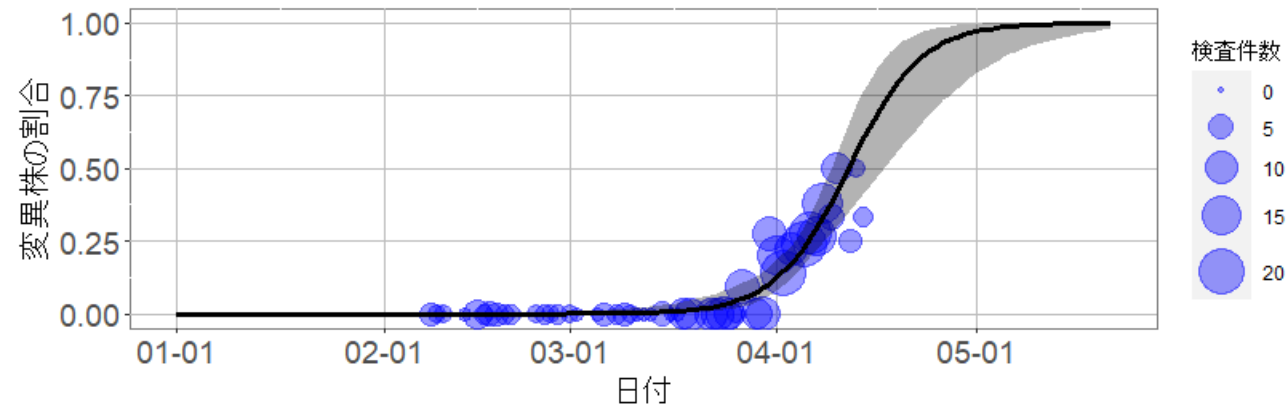
データは民間検査会社（3社）の501Y-PCRスクリーニング検査の結果を用いた。原則的に各社のSARS-CoV-2陽性検体は全て501Y-PCR検査が実施された。図中の円の中心は日ごとの501Y変異割合の点推定値、円の大きさは日ごとの501Y-PCR検査件数を表す。推定に際しては、最終的にすべてのウイルスが501Y変異を有するウイルスに置き換わることを前提としている。また推定値には不確実性があり（図中では95%信頼区間をグレーで示している）、今後、スクリーニング件数が増えることで値が変化する可能性がある。

SARS-CoV-2陽性検体に占める501Y変異の割合：4月19日時点

愛知
N*=210/422



沖縄
N=41/308



*501Y変異検出数/501Y-PCRスクリーニング件数

データは民間検査会社（3社）の501Y-PCRスクリーニング検査の結果を用いた。原則的に各社のSARS-CoV-2陽性検体は全て501Y-PCR検査が実施された。図中の円の中心は日ごとの501Y変異割合の点推定値、円の大きさは日ごとの501Y-PCR検査件数を表す。推定に際しては、最終的にすべてのウイルスが501Y変異を有するウイルスに置き換わることを前提としている。また推定値には不確実性があり（図中では95%信頼区間をグレーで示している）、今後、スクリーニング件数が増えることで値が変化する可能性がある。

職業分類別 COVID-19症例の男女比

データ

2021年4月7日までの自治体公表情報を用いた。性別不明の症例は解析から除外した。

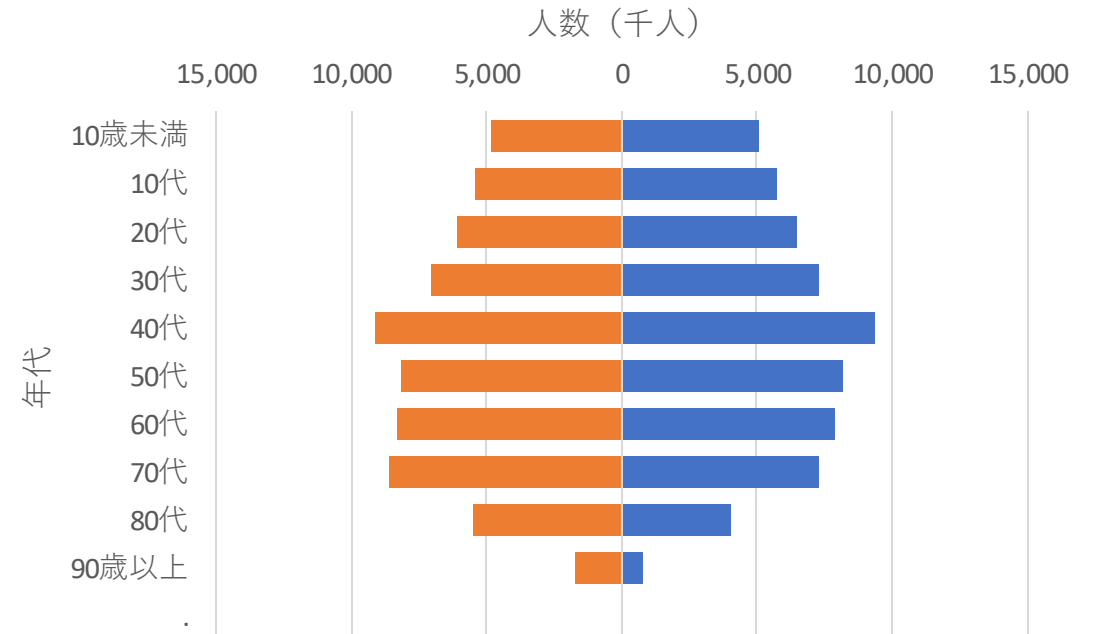
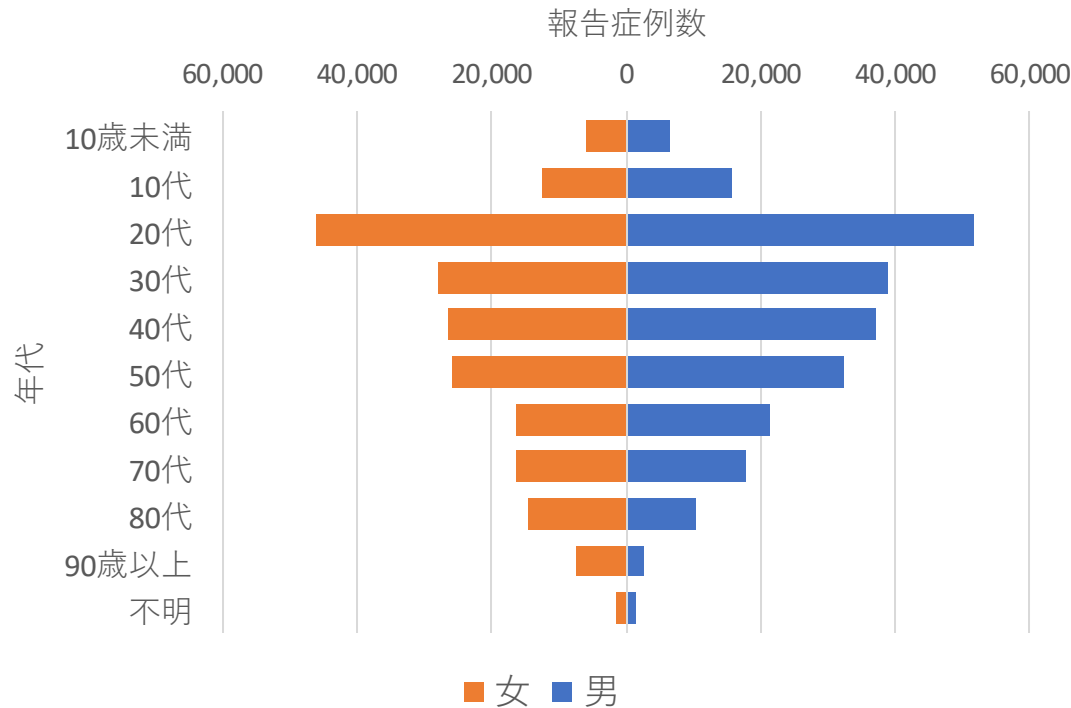
まとめ

- 6割弱の症例で職業に関する情報が公開されている。
- 医療関係、介護・福祉関係、児童福祉関係では女性の割合が高く、会社員、公務員では男性の割合が高くなっている。
- 医療関係や介護・福祉関係など、リスクが高いとされている職種では女性の割合が高く、症例での女性の割合が高いため、女性は職業上の理由から感染機会が高くなっている可能性がある。
- 各職業の男女比が反映されていると考えられるが、今後、詳細な検討が必要である。

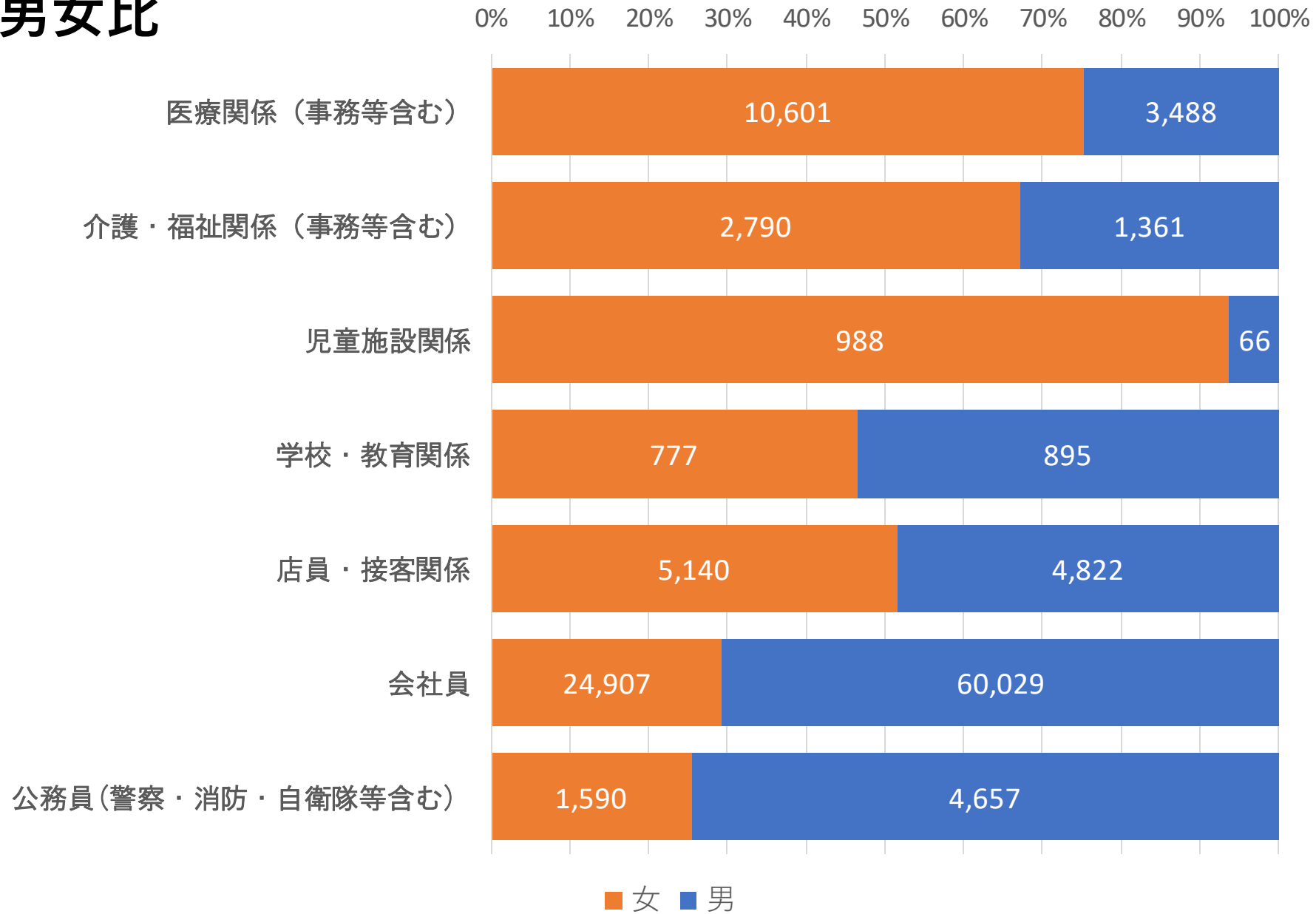
職業情報	性別			合計
	女	男	不明	
あり	117941 (58.6%)	139231 (59.1%)	1240 (2.2%)	258412 (52.5%)
なし	83211 (41.4%)	96541 (40.9%)	54008 (97.8%)	233760 (47.5%)
合計	201152 (100.0%)	235772 (100.0%)	55248 (100.0%)	492172 (100.0%)

報告症例年代分布（職業・性別不明除く）

参考：人口年代分布（2019年10月1日時点）

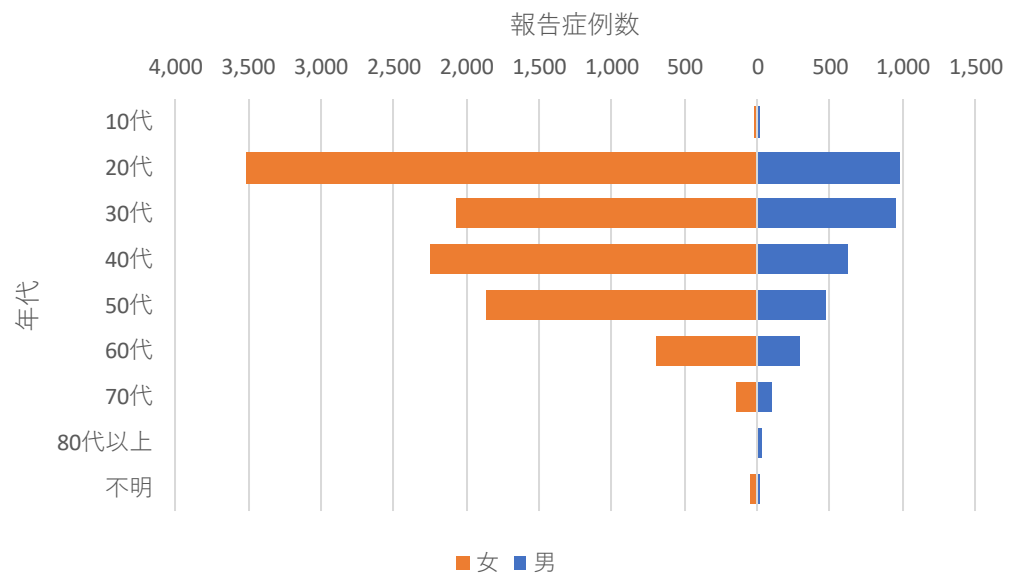


分類別男女比

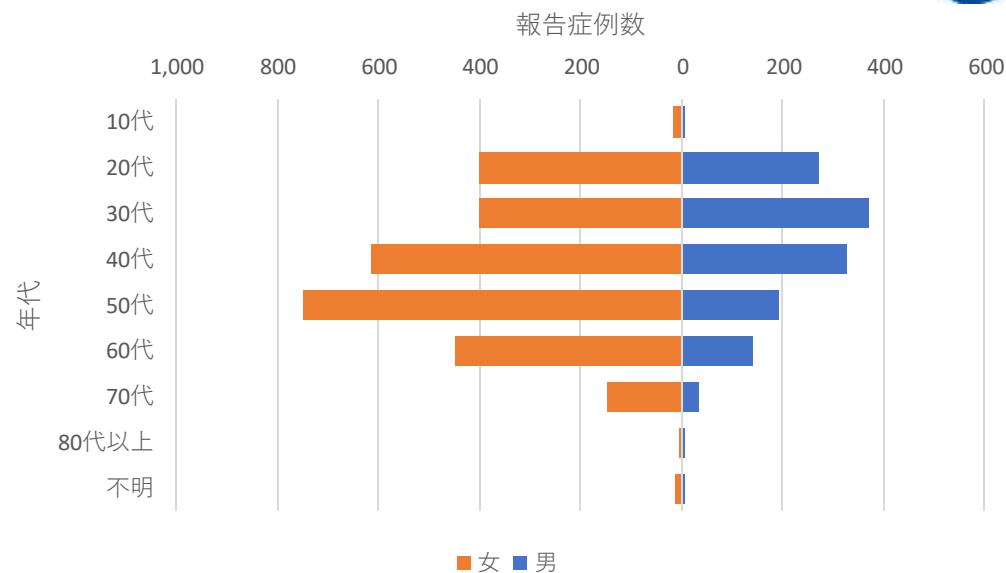


分類・年代別 男女比

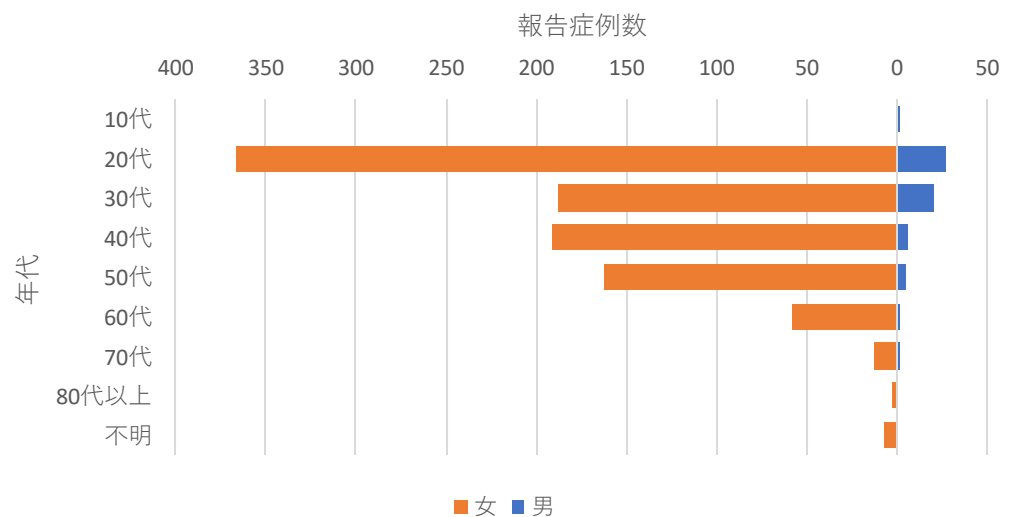
医療関係



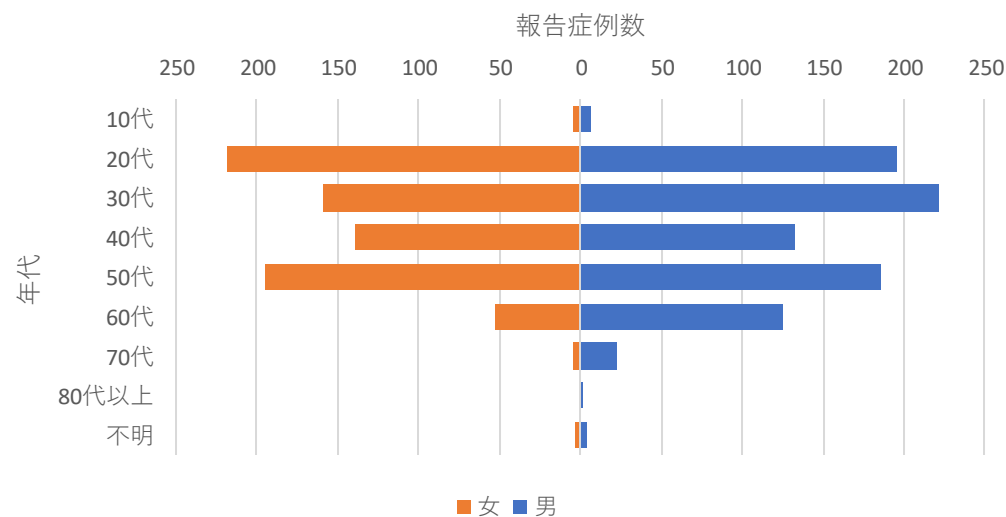
介護・福祉関係



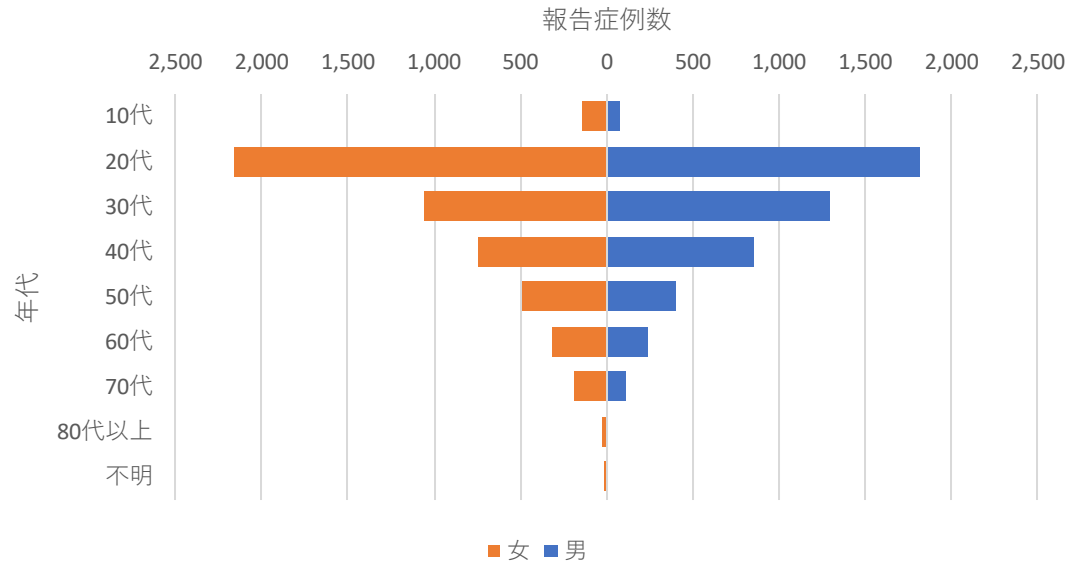
児童福祉関係



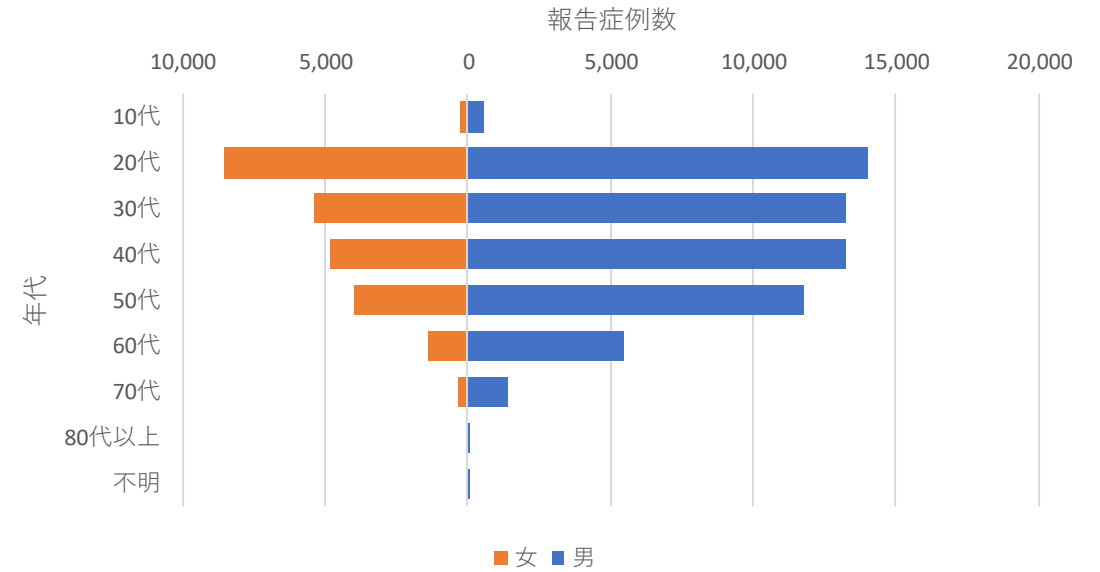
学校・教育関係



店員・接客関係



会社員



公務員(警察・消防・自衛隊等含む)

